

福島県避難者意向調査 調査結果（概要版）

<調査の概要>

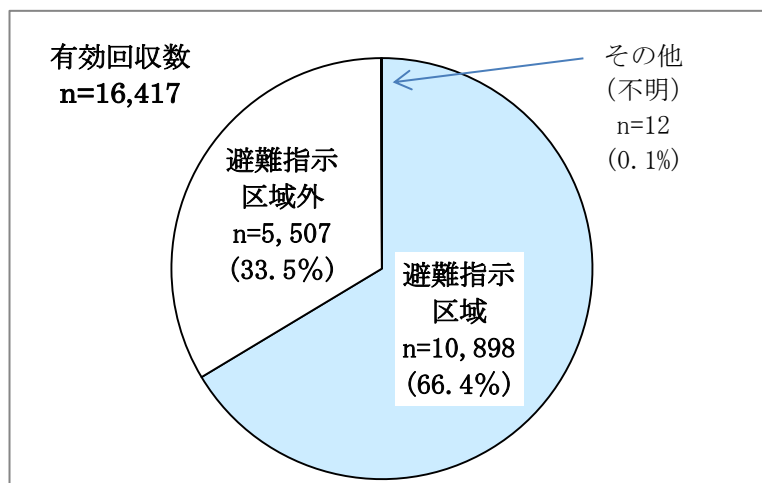
1. 調査目的：避難者の現在の生活状況や支援ニーズ等を把握し、今後の県の支援施策の充実につなげる。
2. 調査対象：本県からの避難者 58,018 世帯
3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（記名式）
4. 調査期間：平成 28 年 2 月 22 日～3 月 7 日
5. 回答数：16,417 世帯
6. 回収率：32.9%
(返戻等を除く有効発信数 49,909 世帯に対する回収率)

<基本属性>

- 避難元別内訳（避難指示区域・避難指示区域外）
- 避難先別（県内・県外）

<基本属性>

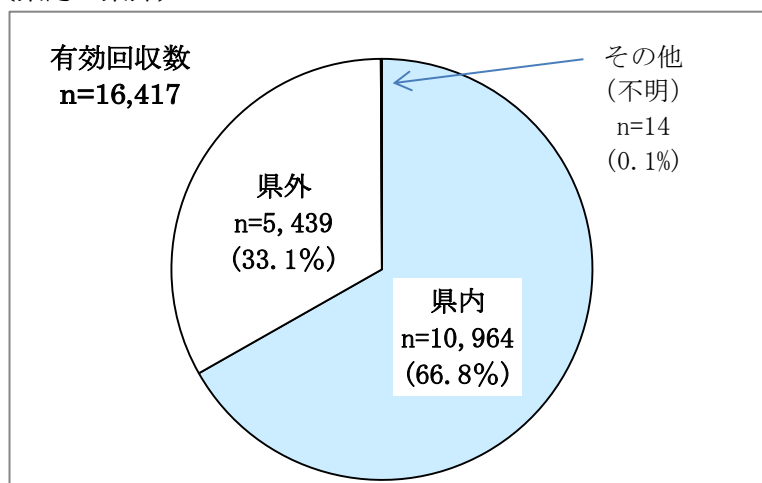
- 有効発信数 計49,909世帯（避難指示区域 30,185世帯・60.5%、
避難指示区域外 19,693世帯・39.5%、
その他 31世帯・0.1%）
- 有効回収数 計16,417世帯
- 避難元別内訳（避難指示区域、避難指示区域外）



○避難指示区域（帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域）の市町村の有効回収数 10,898世帯
浪江町 3,256、富岡町 2,152、南相馬市 1,983、大熊町 1,497、双葉町 857、飯館村 768、
葛尾村 209、川俣町 172、川内村 4

○避難指示区域以外の市町村の有効回収数 5,507世帯（※有効回収数20未満は、「その他」に分類）
南相馬市 1,320、榎葉町 994、いわき市 988、福島市 460、郡山市 442、広野町 305、
川内村 175、須賀川市 162、相馬市 132、田村市 107、伊達市 86、二本松市 81、白河市 46、
本宮市 31、新地町 28、川俣町 23、その他 127

- 有効回収率 32.9%（避難指示区域36.1%、避難指示区域以外28.0%）
- 避難先別（県内・県外）



○県外避難先の内訳 (5,439件)（※有効回収数100未満は、「その他」に分類）

東京都 751、宮城県 621、茨城県 516、埼玉県 504、神奈川県 449、新潟県 395、千葉県 384、
山形県 364、栃木県 273、北海道 135、群馬県 120、その他 927

1. 避難状況

現在の避難状況（問2-1）

（すべての方へ）

〈 全体 〉（図表 1-3-1）

○ 「世帯全員が避難している」のは、85.0%となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 1-3-1）

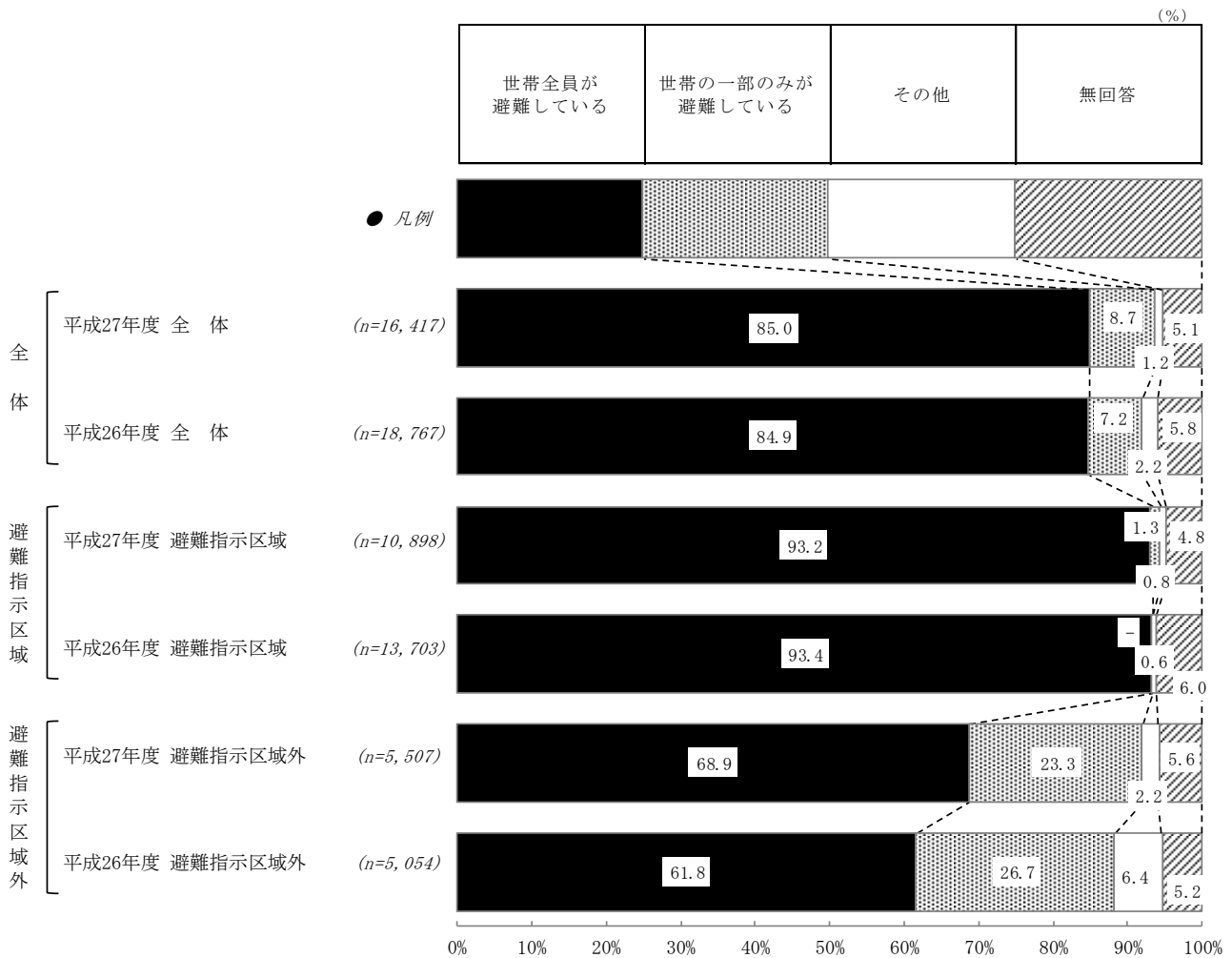
○ 避難指示区域からの避難世帯では、「世帯全員が避難している」が 93.2%となっている。

○ 避難指示区域外からの避難世帯では、「世帯全員が避難している」が 68.9%となっている。

※注：次の選択肢は、図表中では（ ）内の表記を省略している。

- ・「世帯全員が避難している（被災当時一緒に住んでいた人が、全員被災当時の住所から避難している）」
- ・「世帯の一部のみが避難している（被災当時一緒に住んでいた人の中に、被災当時の住所に残っている（戻っている）人がいる）」

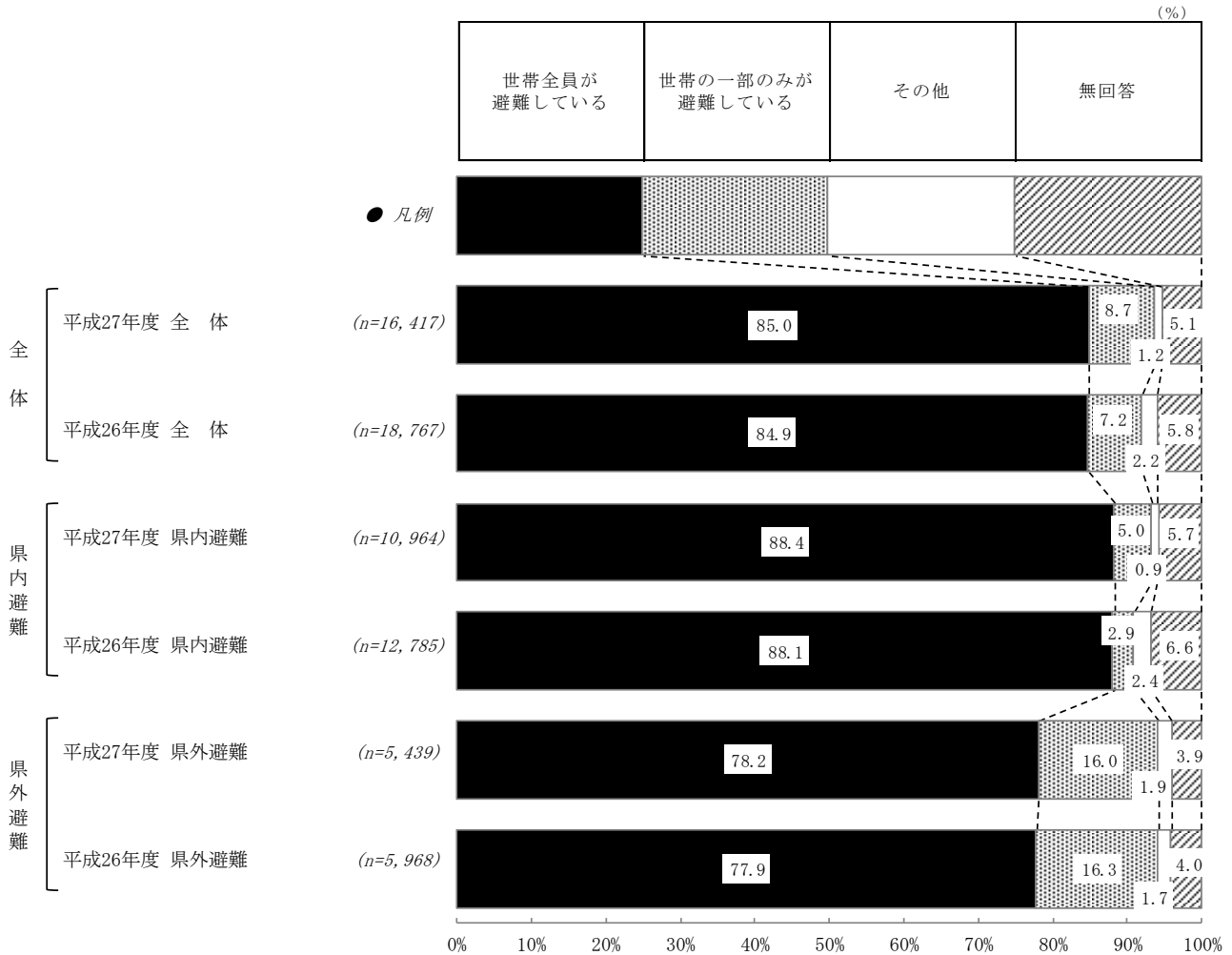
図表 1-3-1 現在の避難状況 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 1-3-2）

- 県内への避難世帯では、「世帯全員が避難している」が88.4%となっている。
- 県外への避難世帯では、「世帯全員が避難している」が78.2%となっている。
- 「世帯の一部のみが避難している」は、県内への避難世帯に比べて県外への避難世帯の方が、割合が高い。

図表 1-3-2 現在の避難状況 〈 避難先別（県内・県外） 〉



家族の分散居住状況（問2-2）

（すべての方へ）

〈 全体 〉（図表1-4-1）

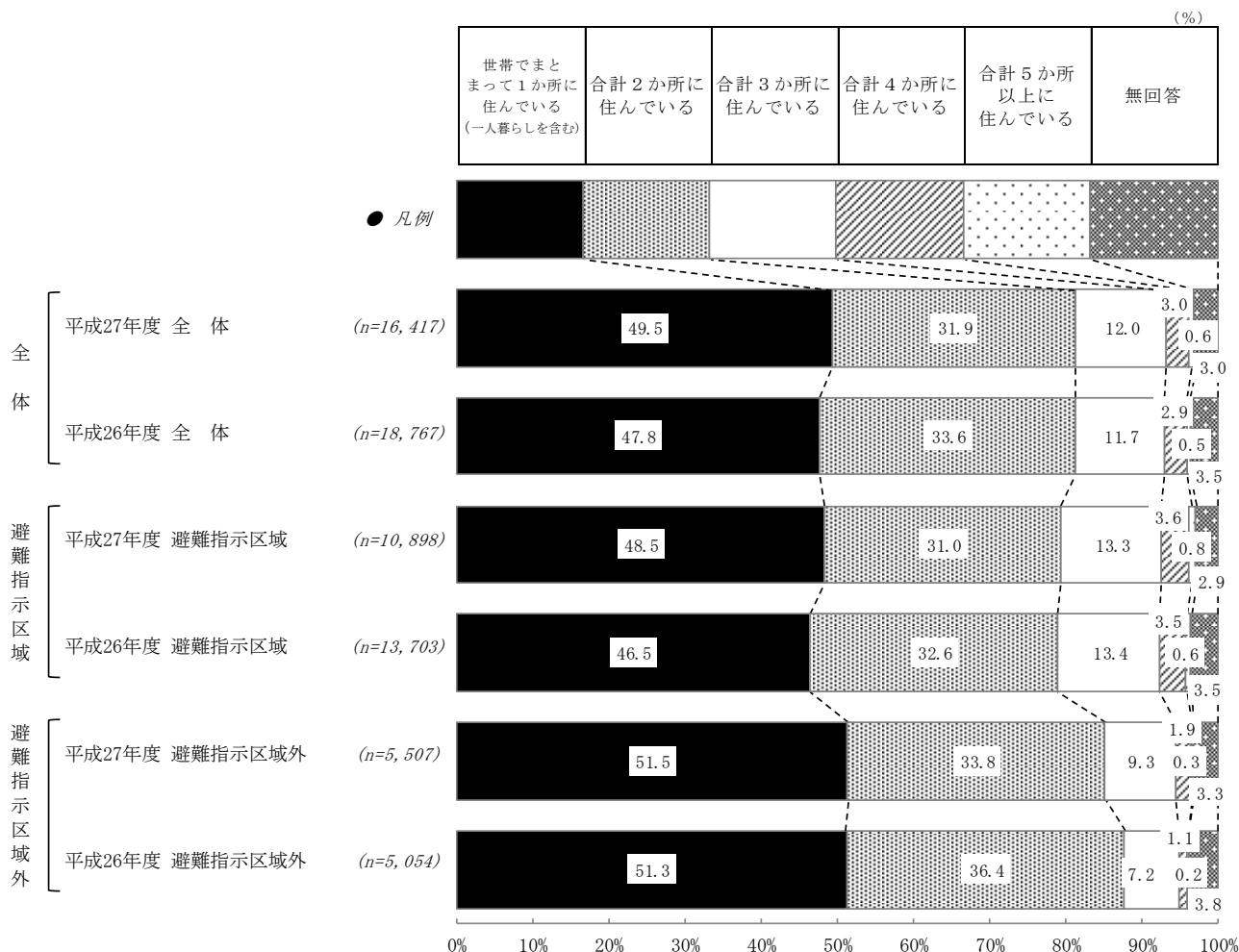
- 「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」世帯は約半数の49.5%、震災当時に同居していた家族が複数か所に住んでいる世帯も合計47.5%となっており、ほぼ二分している。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表1-4-1）

- 「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」は、避難指示区域からの避難世帯が48.5%、避難指示区域外からの避難世帯が51.5%となっている。
- 複数か所に住んでいる世帯は、避難指示区域からの避難世帯では合計48.7%、避難指示区域外からの避難世帯では合計45.3%となっている。

図表1-4-1 被災当時同居していた家族の分散居住状況

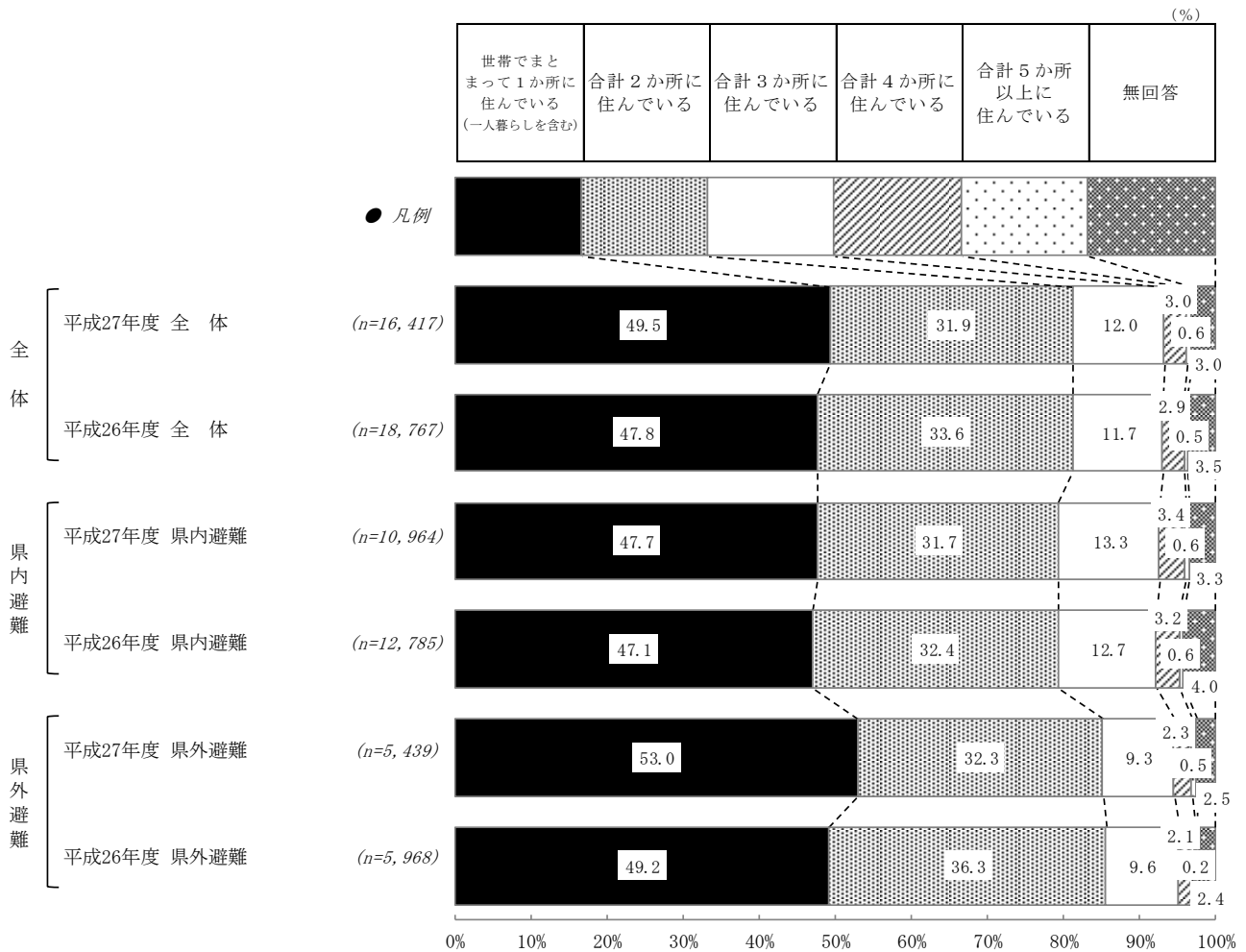
〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 1-4-2）

- 「世帯でまとまって1か所に住んでいる（一人暮らしを含む）」は、県内への避難世帯が47.7%、県外への避難世帯が53.0%となっている。
- 複数か所に住んでいる世帯は、県内への避難世帯では合計49.0%、県外への避難世帯では合計44.4%となっている。

図表 1-4-2 被災当時同居していた家族の分散居住状況
 〈 避難先別（県内・県外） 〉



避難先・避難元往来時の主な交通手段（問5-1）

（問4で1～5とお答えの方へ）

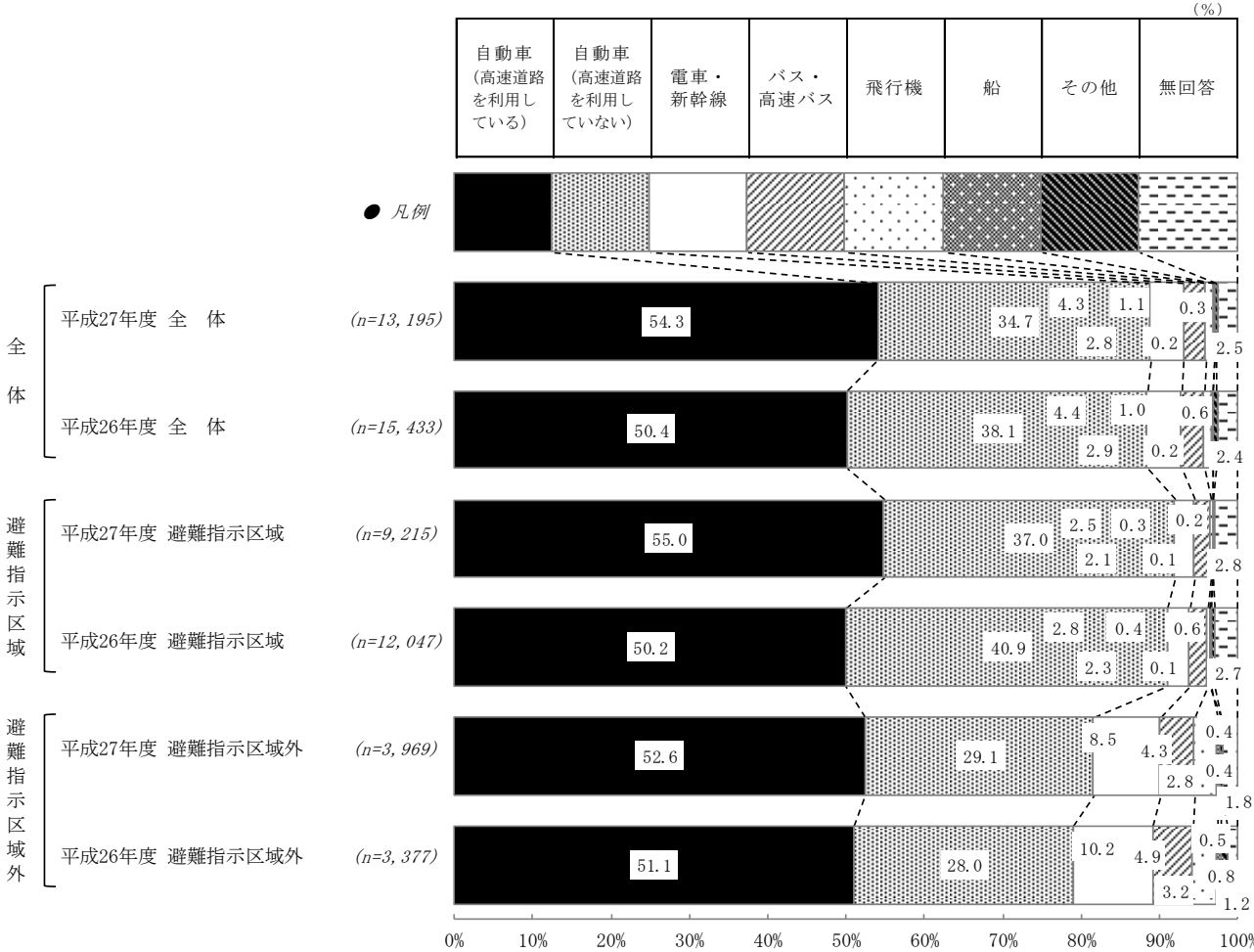
〈 全体 〉（図表 1-7-1）

○ 往来時に利用している主な交通手段は、「自動車（高速道路を利用している）」54.3%が最も多く、「自動車（高速道路を利用していない）」を含めると89.0%となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 1-7-1）

○ 避難指示区域・避難指示区域外からの避難世帯ともに、「自動車（高速道路を利用している）」が最も多く、「自動車（高速道路を利用していない）」を含めると、避難指示区域では92.0%、避難指示区域外では81.7%となっている。

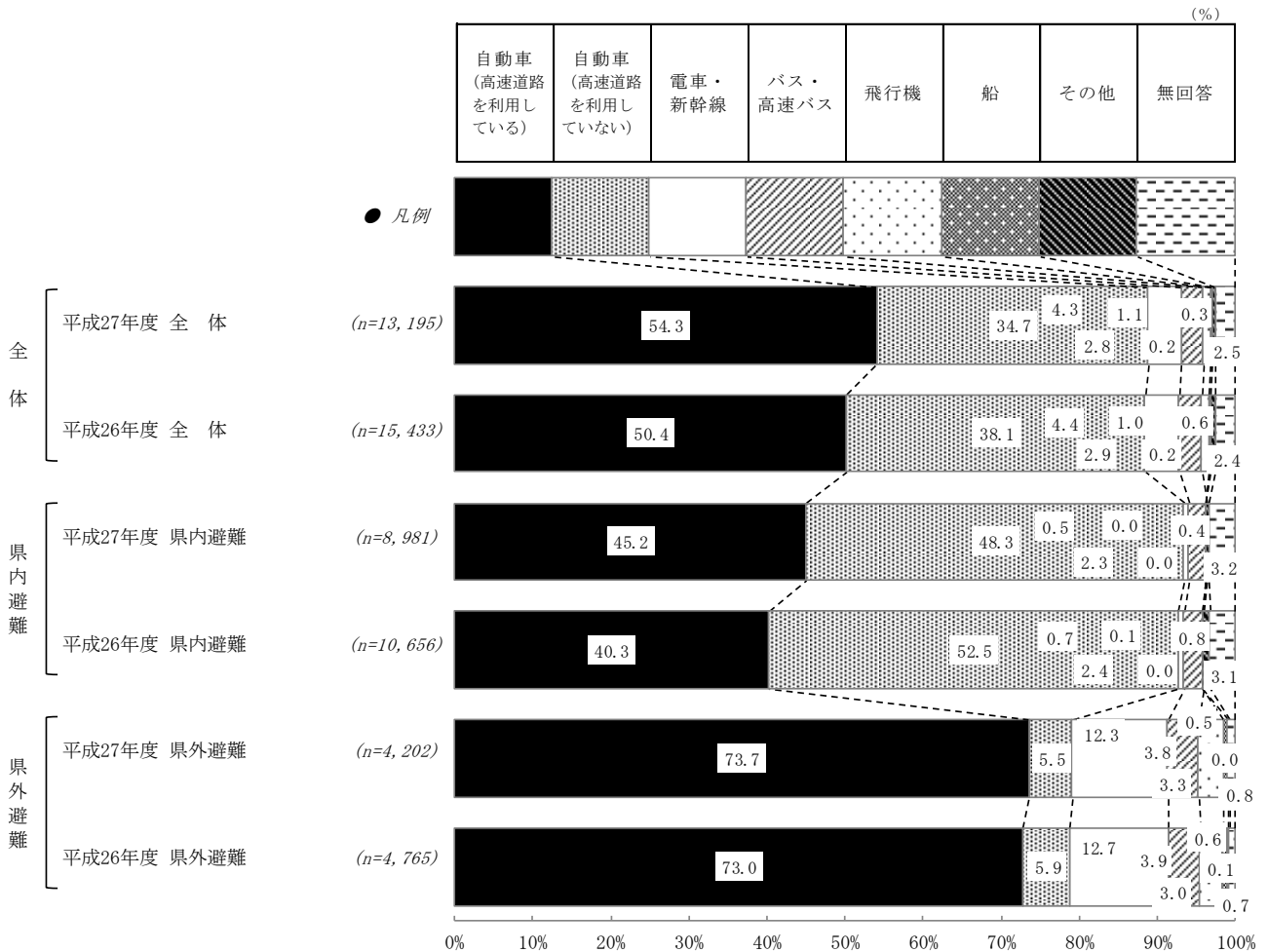
図表 1-7-1 避難先・避難元往来時の主利用交通手段
〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 1-7-2）

- 県内への避難世帯では、「自動車（高速道路を利用していない）」48.3%が最も多く、次いで「自動車（高速道路を利用している）」45.2%となっている。
- 県外への避難世帯では、「自動車（高速道路を利用している）」73.7%が最も多く、次いで「電車・新幹線」12.3%となっている。

図表 1-7-2 避難先・避難元往来時の主利用交通手段 〈 避難先別（県内・県外） 〉



避難先への住民票変更状況(問6)

(すべての方へ)

〈 全体 〉(図表 1-9-1)

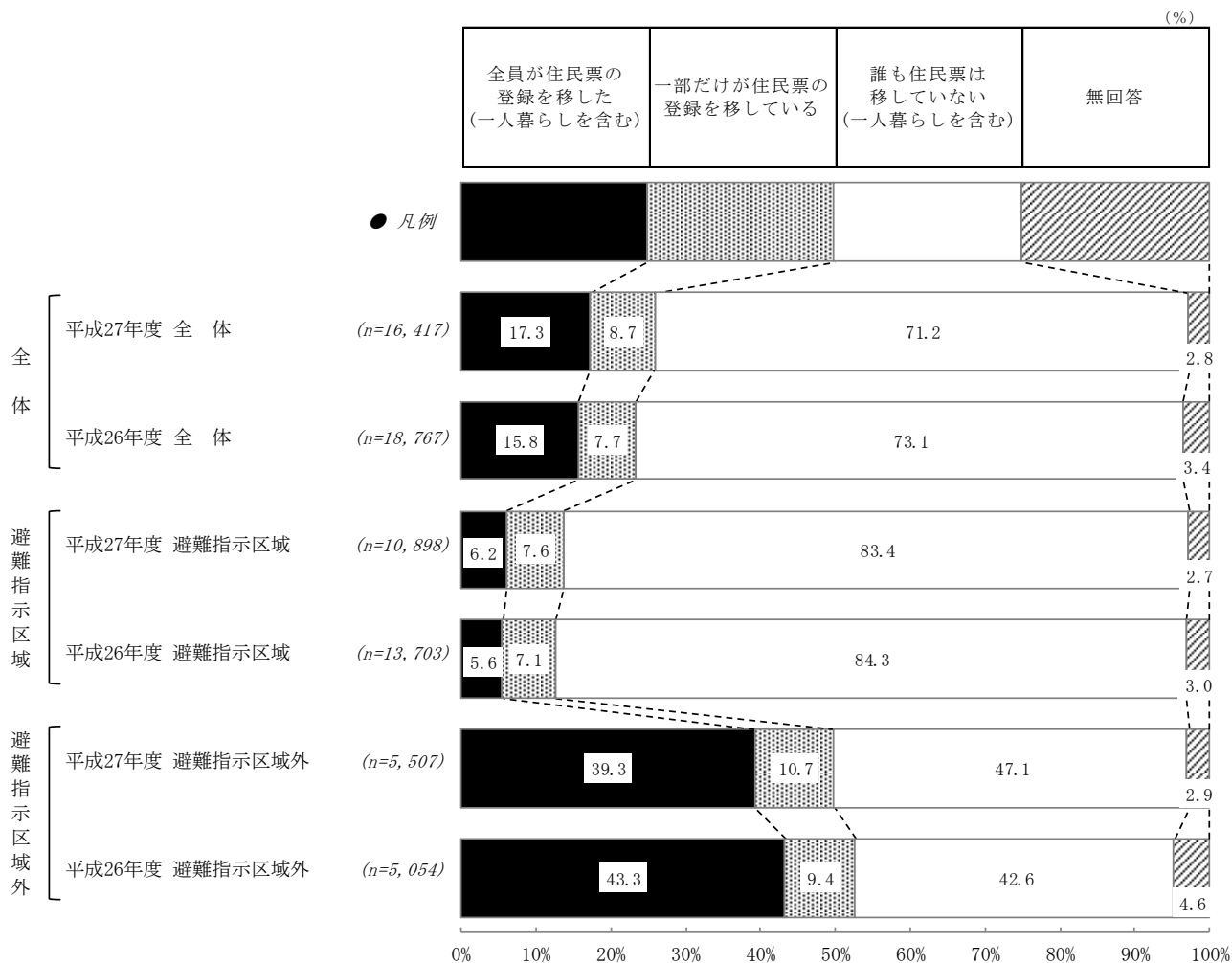
- 「誰も住民票は移していない(一人暮らしを含む)」は、71.2%となっている。
- 同居家族(全員または一部だけ)が住民票の登録を避難先に移しているのは、合計26.0%となっている。

〈 避難元別(避難指示区域・避難指示区域外) 〉(図表 1-9-1)

- 避難指示区域からの避難世帯では、「誰も住民票は移していない(一人暮らしを含む)」が83.4%となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、同居家族(全員または一部だけ)が住民票の登録を避難先に移しているのは合計50.0%となっている。

図表 1-9-1 避難先への住民票変更状況

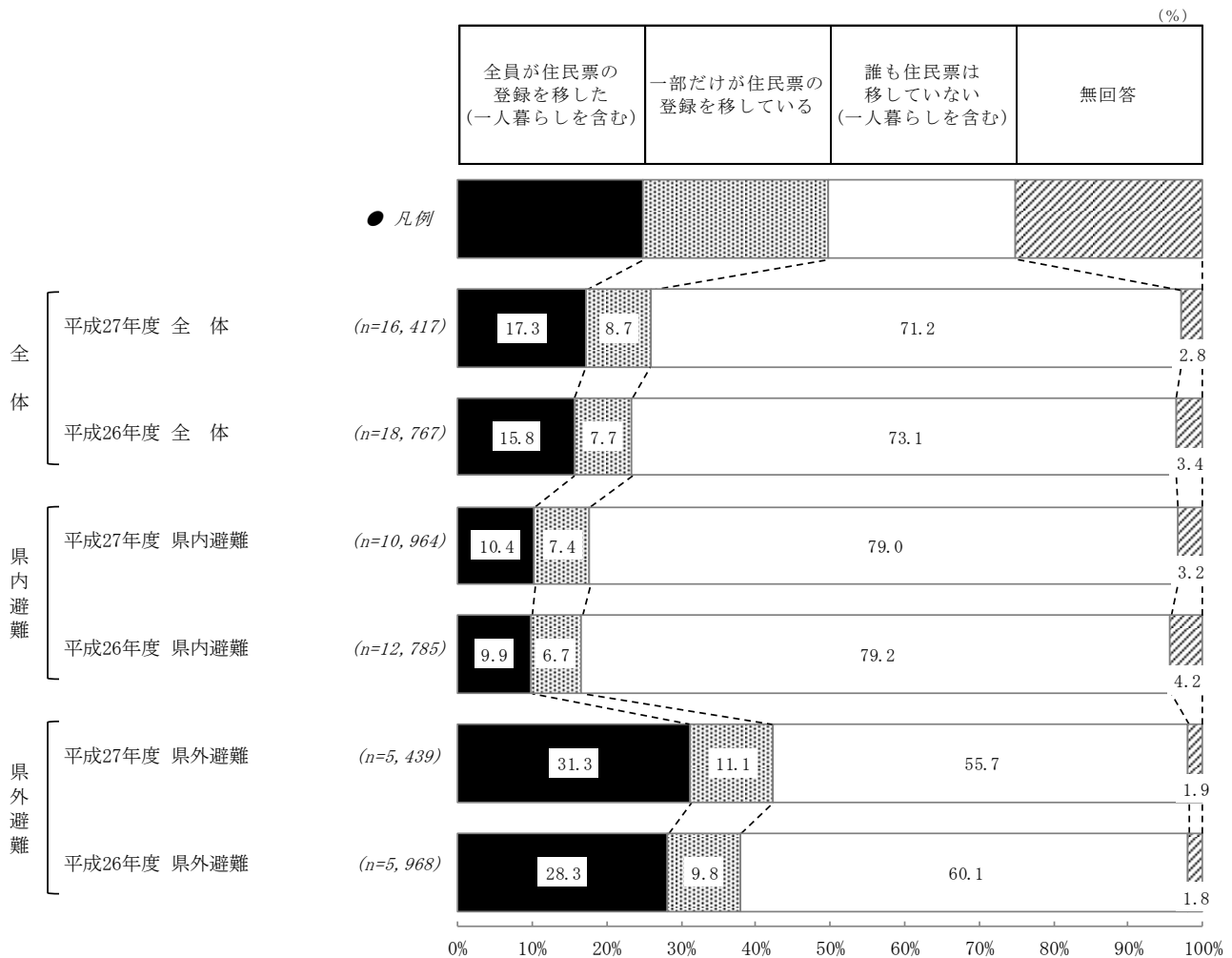
〈 避難元別(避難指示区域・避難指示区域外) 〉



〈 避難先別（県内・県外）〉（図表 1-9-2）

- 県内・県外への避難世帯ともに、「誰も住民票は移していない（一人暮らしを含む）」が最も多く、県内への避難世帯では 79.0%、県外への避難世帯では 55.7%となっている。
- 「全員が住民票の登録を移した（一人暮らしを含む）」は、県内への避難世帯では 10.4%、県外への避難世帯では 31.3%となっている。

図表 1-9-2 避難先への住民票変更状況 〈 避難先別（県内・県外）〉



2. 住まいの状況

現在居住住居の形態（問7）

（すべての方へ）

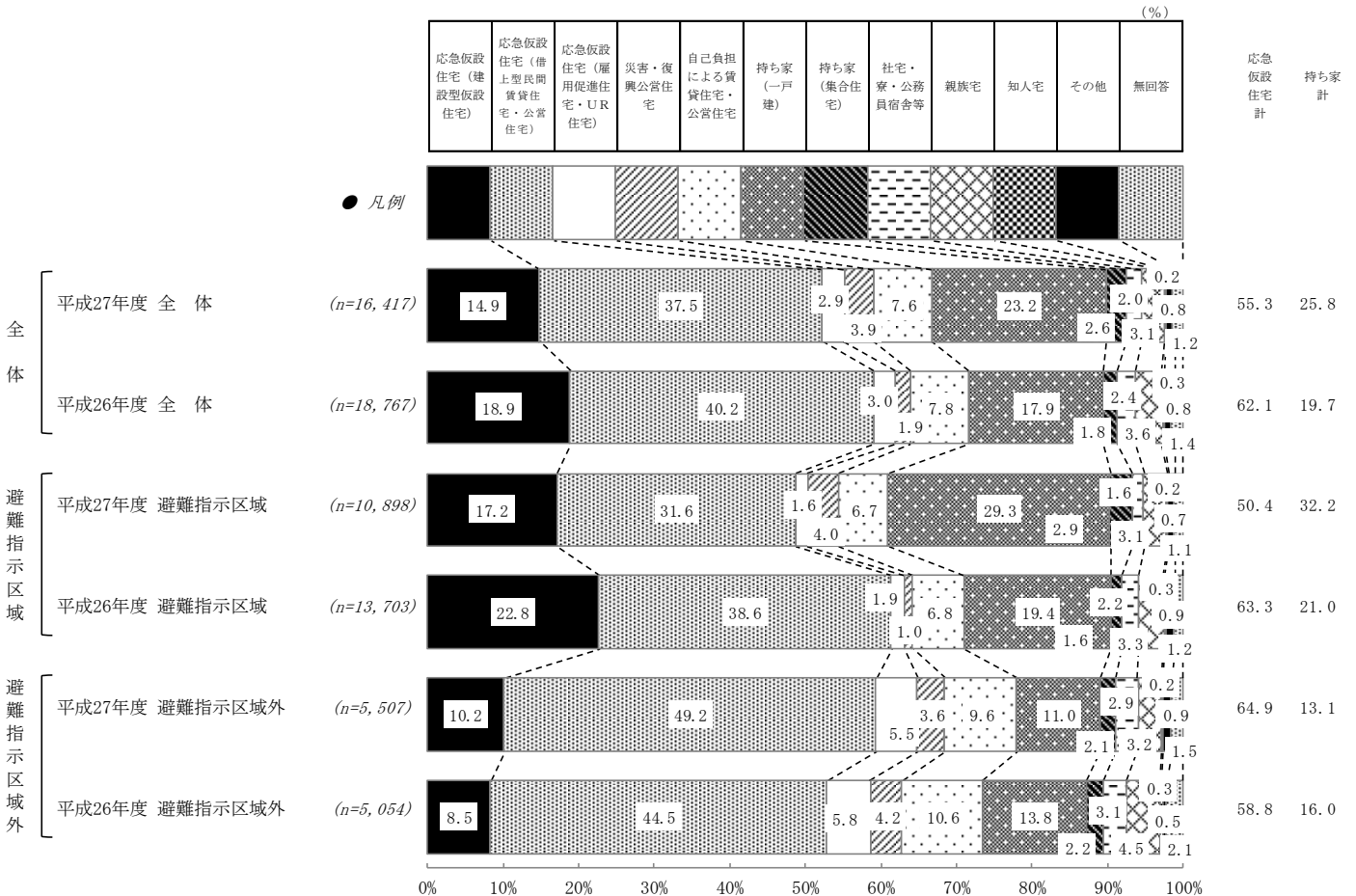
〈 全体 〉（図表 2-1-1）

- 「応急仮設住宅」に居住している世帯は合計 55.3%であり、前年度 62.1%から 6.8ポイント減少している。
- 「持ち家」に居住している世帯は合計 25.8%であり、前年度 19.7%から 6.1ポイント増加している。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 2-1-1）

- 避難指示区域からの避難世帯は、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」が最も多いが、前年度から 7.0ポイント減少している。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」が最も多いが、前年度から 4.7ポイント増加している。
- 「持ち家」に居住している割合は、避難指示区域からの避難世帯では 11.2ポイント増加しているが、避難指示区域外からの避難世帯では 2.9ポイント前年度から減少している。

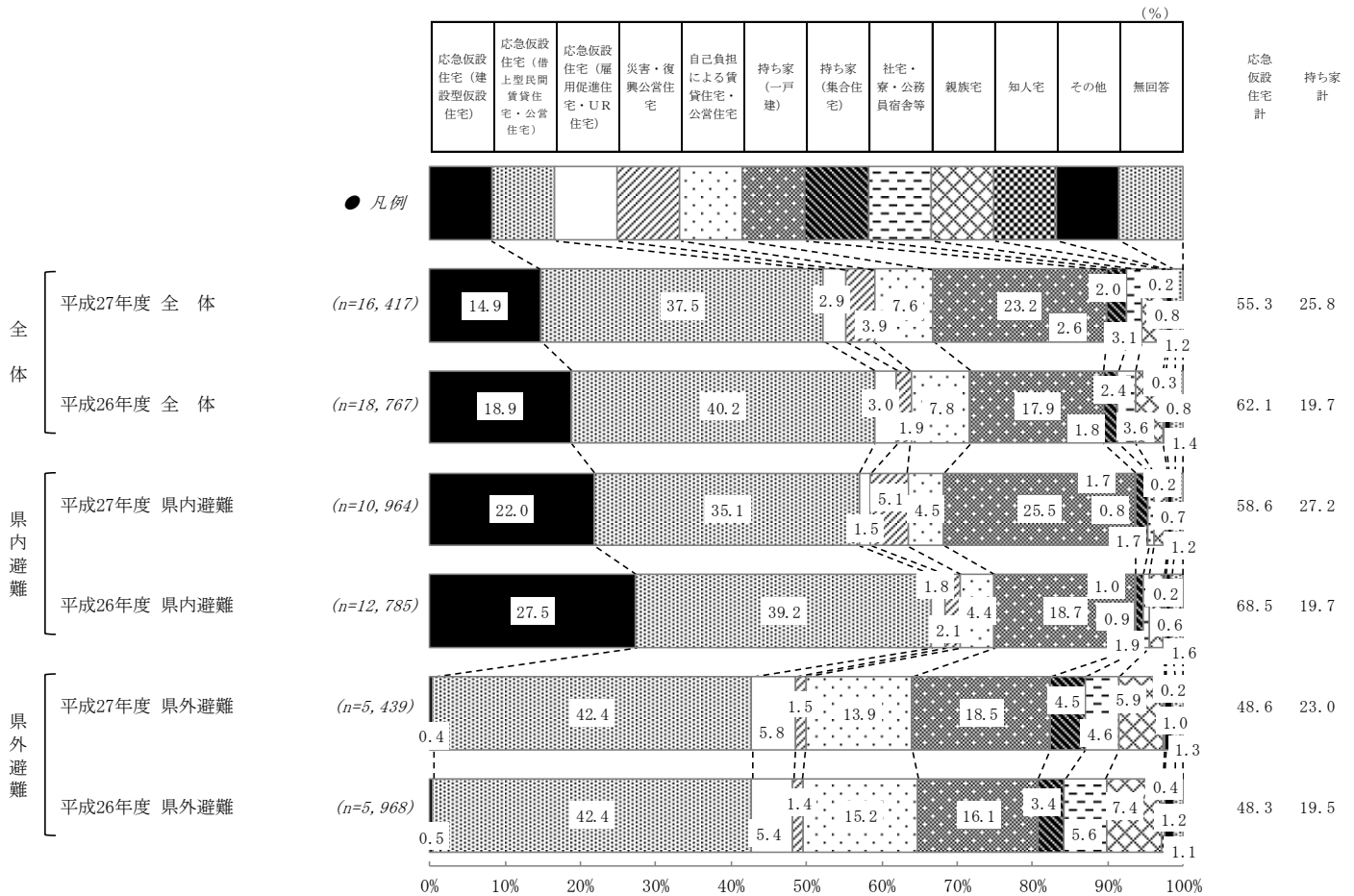
図表 2-1-1 現在居住住居の形態 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外）〉（図表 2-1-2）

- 県内・県外への避難世帯ともに、「応急仮設住宅（借上型民間賃貸住宅・公営住宅）」（県内 35.1%、県外 42.4%）が最も多い。
- 「持ち家」に居住している割合は、県内への避難世帯では 7.5 ポイント、県外への避難世帯では 3.5 ポイント前年度から増加している。

図表 2-1-2 現在居住住居の形態 〈 避難先別（県内・県外）〉



3. 健康や生活などの状況

同居家族の健康状況（問 12-1）

（すべての方へ）

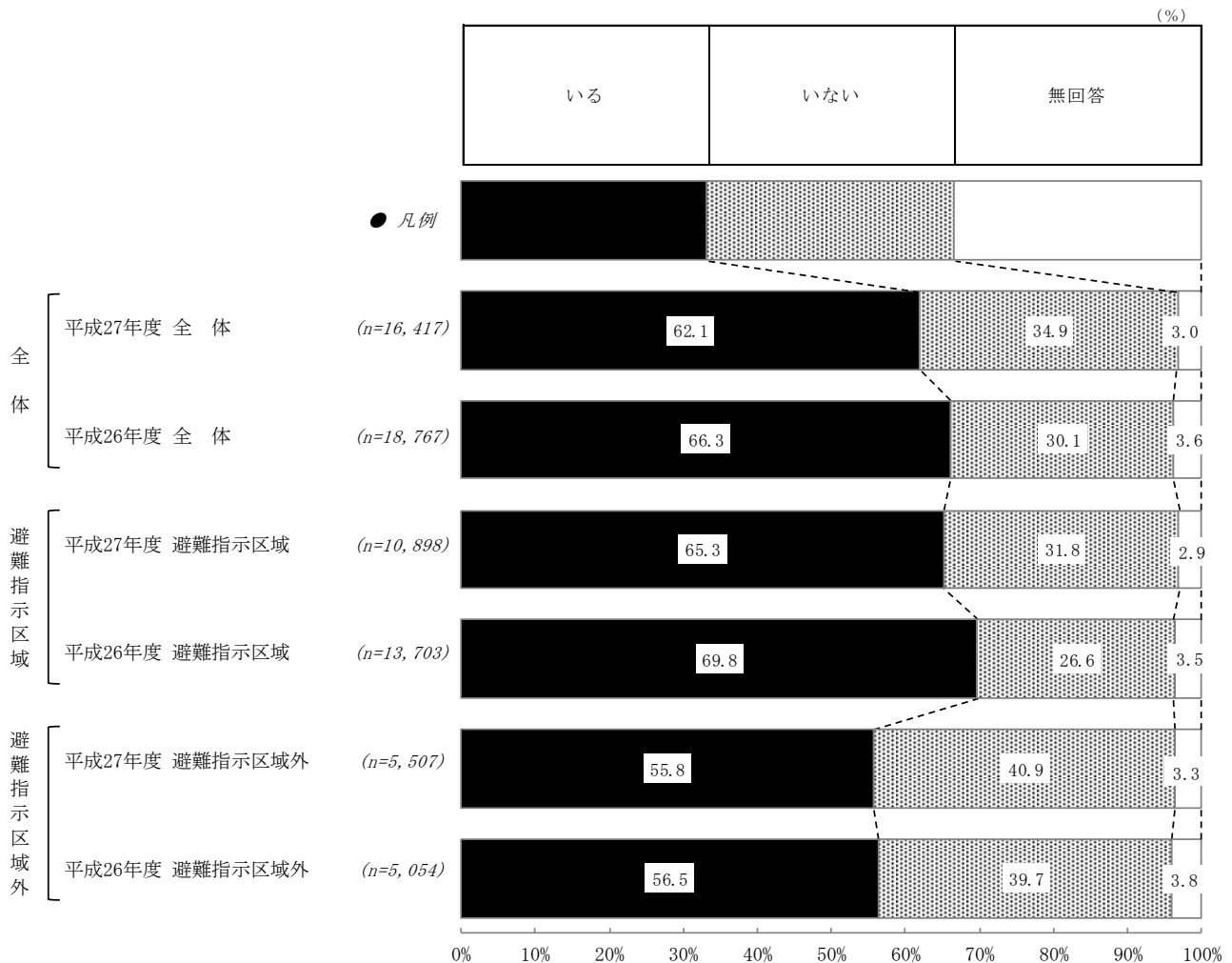
〈 全体 〉（図表 3-1-1）

○ 心身の不調を訴えている同居家族がいる世帯は、62.1%となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 3-1-1）

○ 避難指示区域からの避難世帯では、避難指示区域外からの避難世帯に比べて、心身の不調を訴えている同居家族がいる割合が高い。

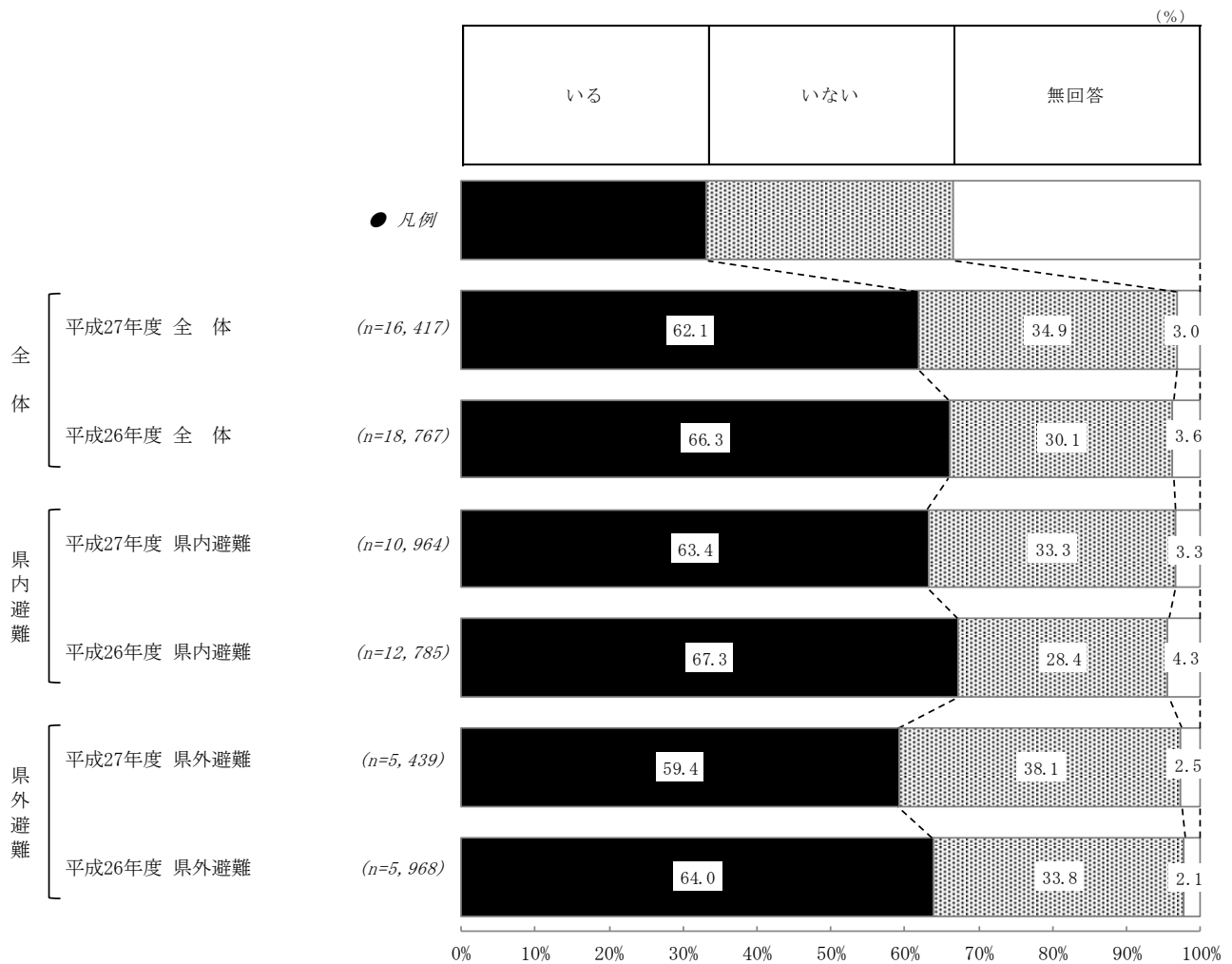
図表 3-1-1 同居家族の健康状況 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 3-1-2）

○ 心身の不調を訴えている同居家族がいる世帯は、県内への避難世帯では 63.4%、
 県外への避難世帯では 59.4%となっている。

図表 3-1-2 同居家族の健康状況 〈 避難先別（県内・県外） 〉



心身の不調の内容（問 12-2）

（問 12-1 で 1 とお答えの方へ）

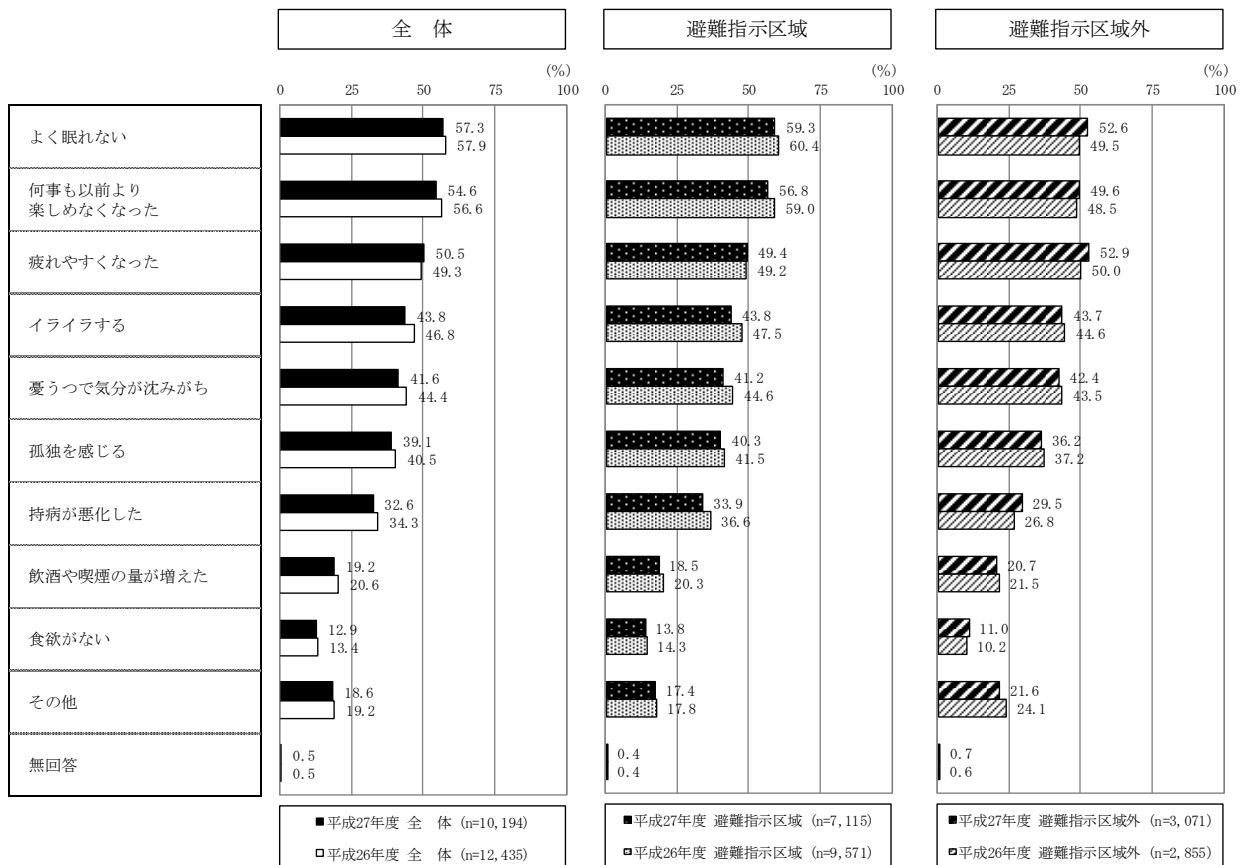
〈 全体 〉（図表 3-1-3）

- 心身の不調の内容（複数回答）は、「よく眠れない」57.3%、「何事も以前より楽しめなくなった」54.6%、「疲れやすくなった」50.5%、「イライラする」43.8%、「憂うつで気分が沈みがち」41.6%、「孤独を感じる」39.1%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 3-1-3）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「よく眠れない」59.3%が最も多く、次いで「何事も以前より楽しめなくなった」56.8%となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「疲れやすくなった」52.9%が最も多く、次いで「よく眠れない」52.6%となっている。

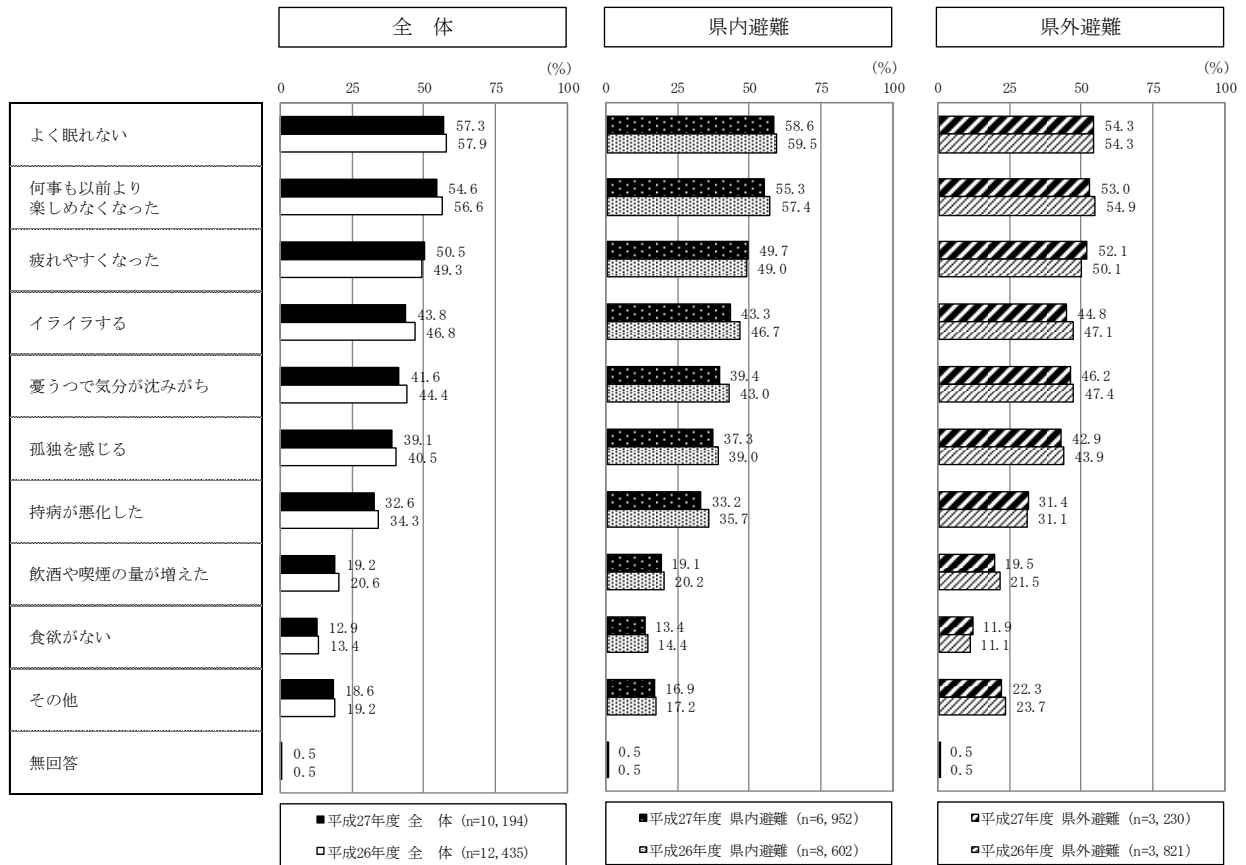
図表 3-1-3 不調の内容 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 3-1-4）

○ 県内・県外への避難世帯ともに、「よく眠れない」、「何事も以前より楽しめなくなった」の順となっている。

図表 3-1-4 不調の内容 〈 避難先別（県内・県外） 〉



現在の生活で不安なこと・困っていること（問 14-1）

（すべての方へ）

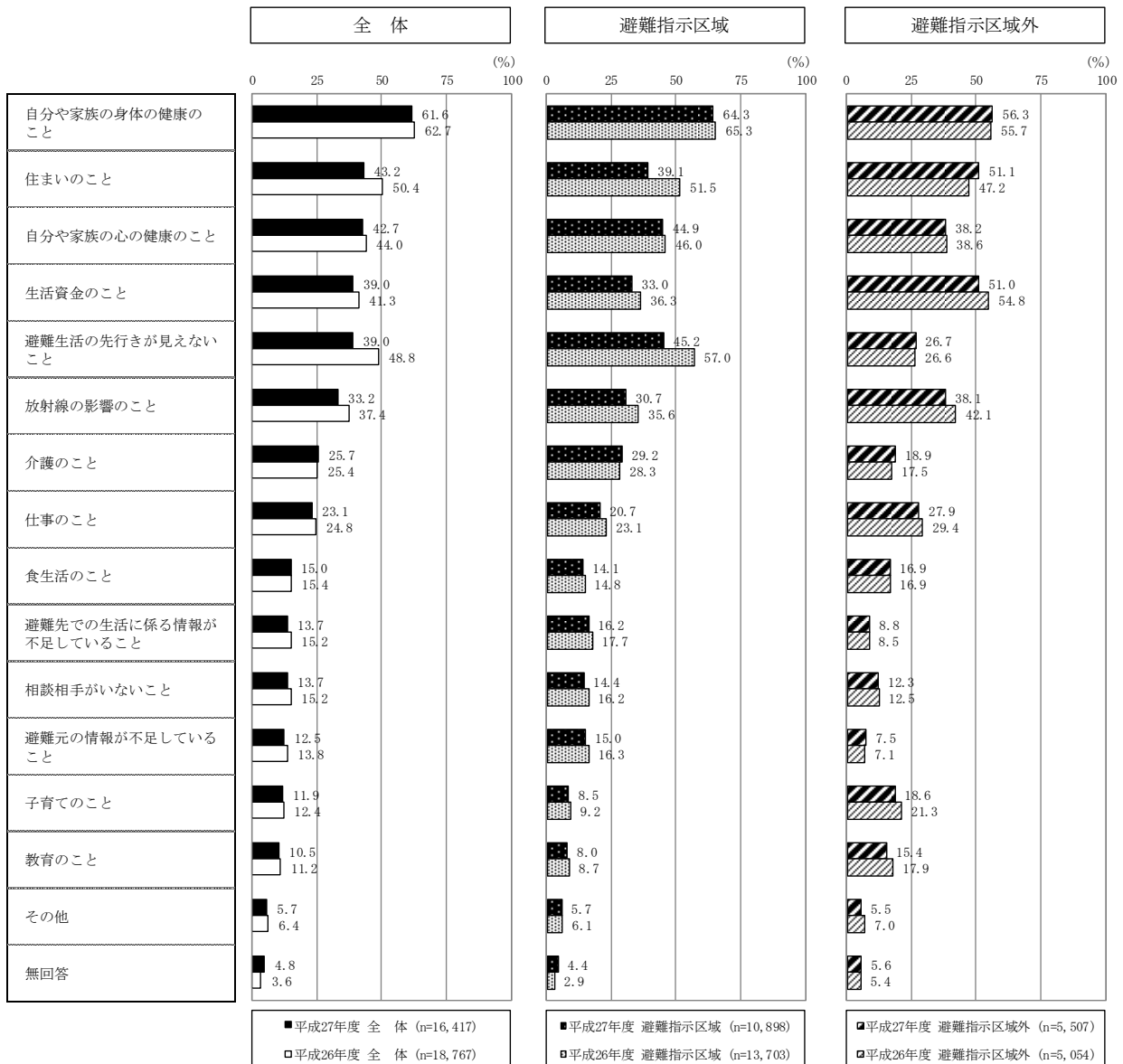
〈 全体 〉（図表 3-3-1）

- 現在の生活での不安や困っていること（複数回答）は、「自分や家族の身体の健康のこと」61.6%、「住まいのこと」43.2%、「自分や家族の心の健康のこと」42.7%、「生活資金のこと」「避難生活の先行きが見えないこと」39.0%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 3-3-1）

- 避難指示区域・避難指示区域外からの避難世帯ともに、「自分や家族の身体の健康のこと」が最も多く、次いで、避難指示区域では「避難生活の先行きが見えないこと」45.2%、避難指示区域外では「住まいのこと」51.1%、「生活資金のこと」50.0%となっている。
- 「住まいのこと」は、避難指示区域では、前年度から 12.4 ポイント減少している。

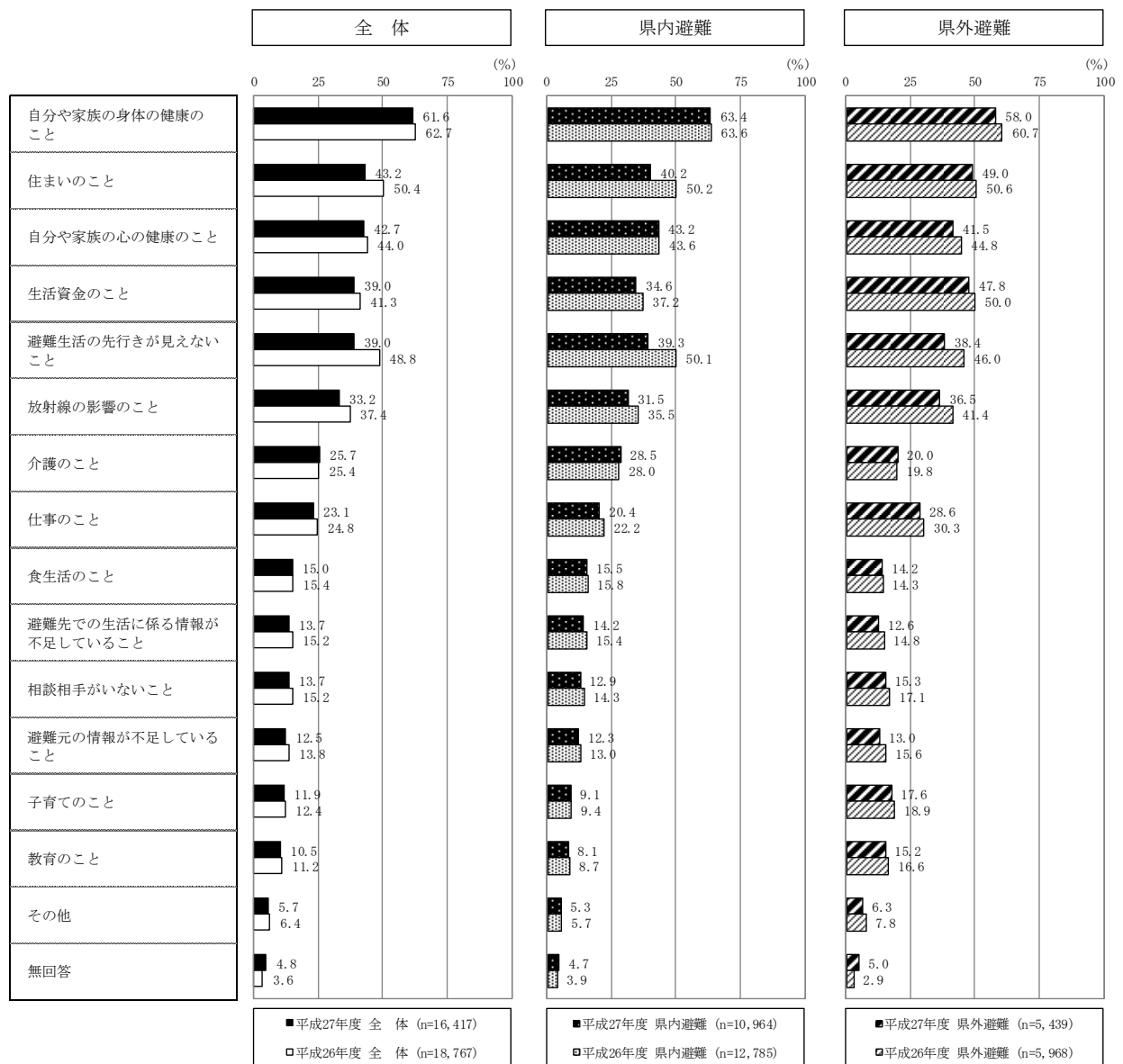
図表 3-3-1 現在の生活で不安なこと・困っていること 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 3-3-2）

- 県内・県外への避難世帯ともに、「自分や家族の身体の健康のこと」が最も多く、次いで、県内への避難世帯では「自分や家族の心の健康のこと」43.2%、県外への避難世帯では「住まいのこと」49.0%となっている。
- 「住まいのこと」は、県内への避難世帯では、前年度から10ポイント減少している。

図表 3-3-2 現在の生活で不安なこと・困っていること 〈 避難先別（県内・県外） 〉



現在の生活で不安なこと・困っていることの相談先(問 14-2) (すべての方へ)

〈 全体 〉(図表 3-4-1)

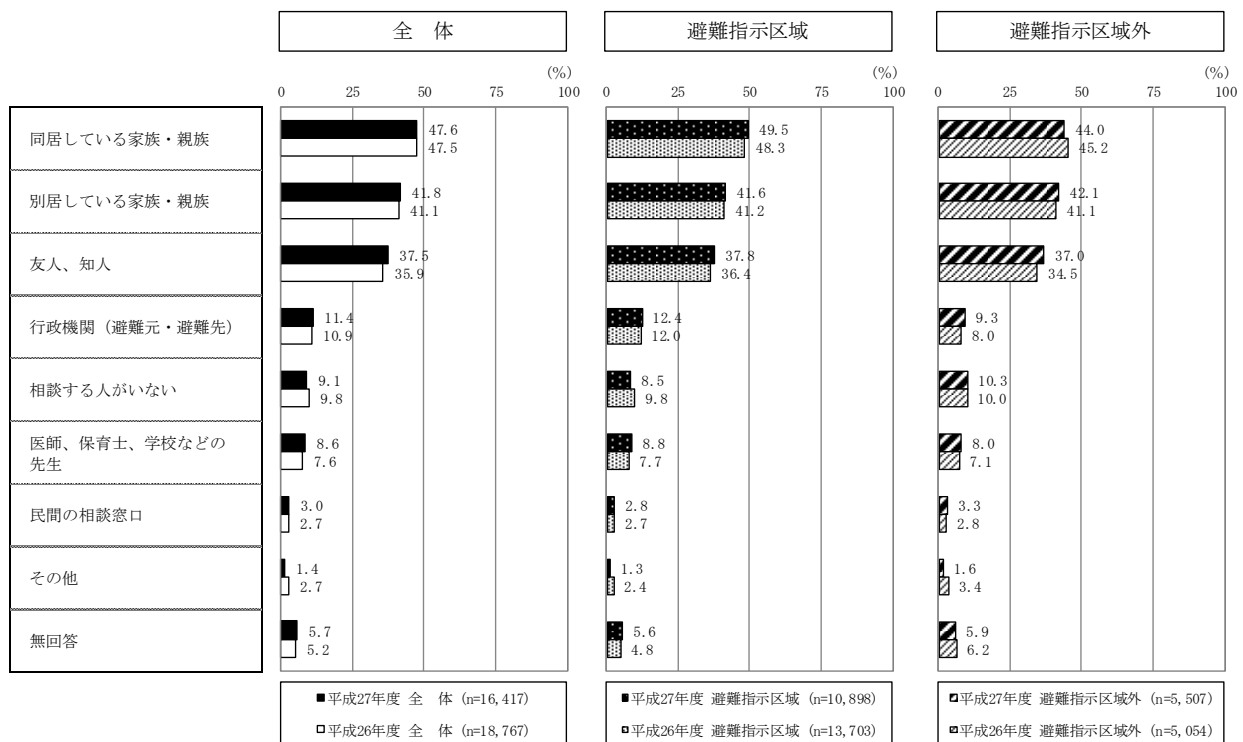
- 不安や困っていることの相談相手(複数回答)は、「同居している家族・親族」47.6%、「別居している家族・親族」41.8%、「友人、知人」37.5%、「行政機関(避難元・避難先)」11.4%、「相談する人がいない」9.1%の順となっている。

〈 避難元別(避難指示区域・避難指示区域外) 〉(図表 3-4-1)

- 避難指示区域・避難指示区域外からの避難世帯ともに、「同居している家族・親族」、「別居している家族・親族」、「友人、知人」の順となっている。

図表 3-4-1 現在の生活で不安なこと・困っていることの相談先

〈 避難元別(避難指示区域・避難指示区域外) 〉

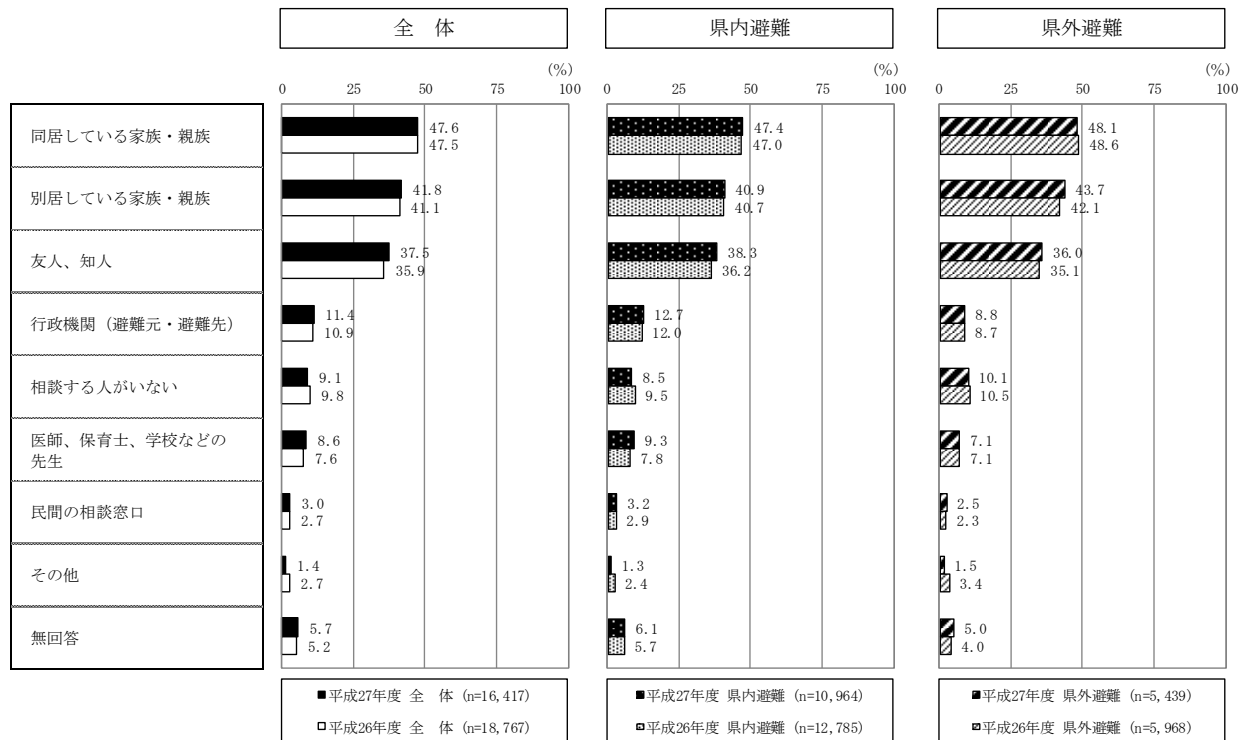


〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 3-4-2）

○ 県内・県外への避難世帯ともに、「同居している家族・親族」、「別居している家族・親族」、「友人、知人」の順となっている。

図表 3-4-2 現在の生活で不安なこと・困っていることの相談先

〈 避難先別（県内・県外） 〉



4. 情報提供について

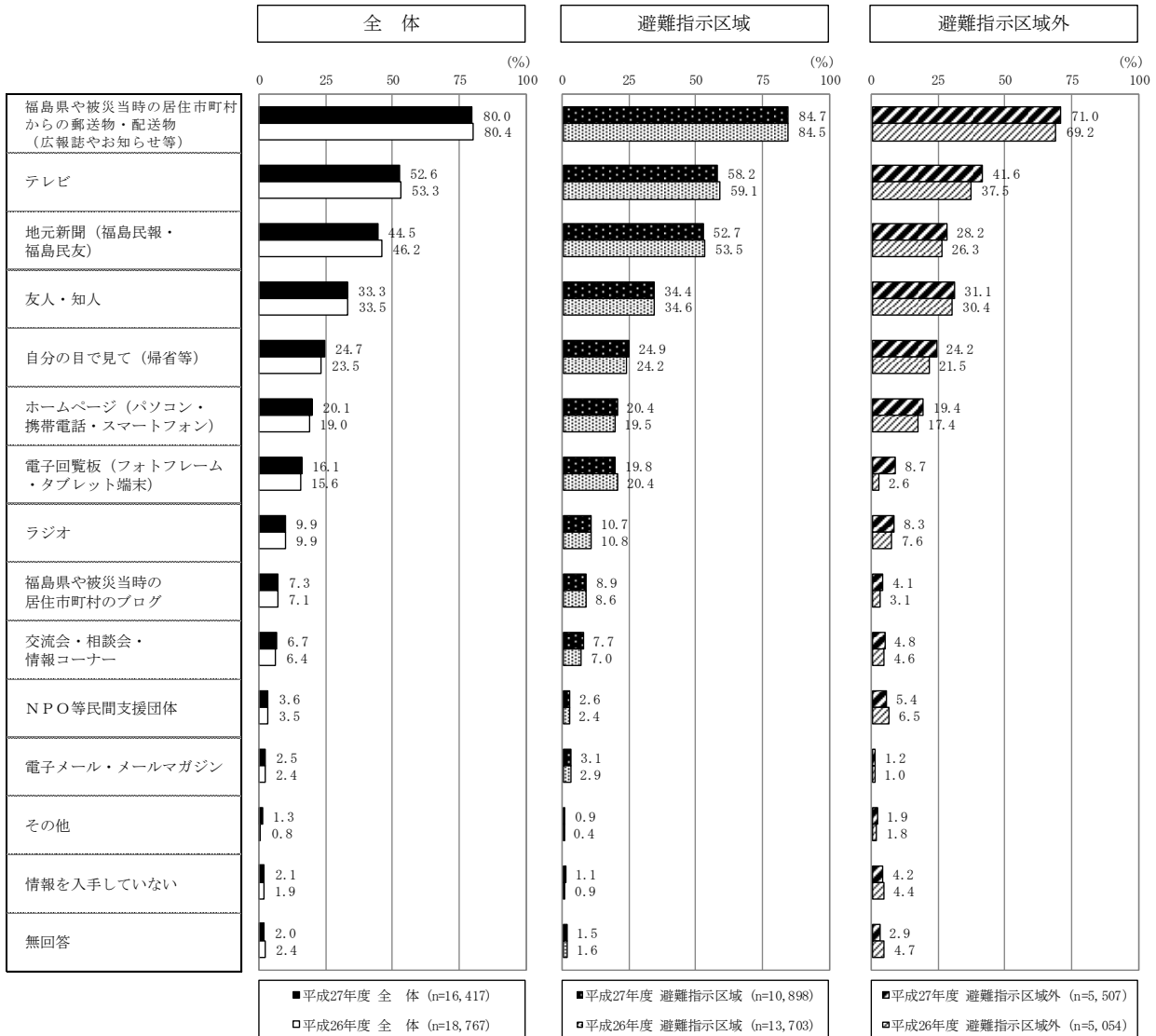
避難元の情報入手方法（問 15）

（すべての方へ）

〈 全体 〉（図表 4-1-1）
 ○ 避難元情報の入手方法（複数回答）は、「福島県や被災当時の居住市町村からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」80.0%が最も多く、「テレビ」52.6%、「地元新聞（福島民報・福島民友）」44.5%、「友人・知人」33.3%、「自分の目で見て（帰省等）」24.7%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 4-1-1）
 ○ 避難指示区域・避難指示区域外からの避難世帯ともに、「福島県や被災当時の居住市町村からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」が最も多く、次いで「テレビ」となっている。

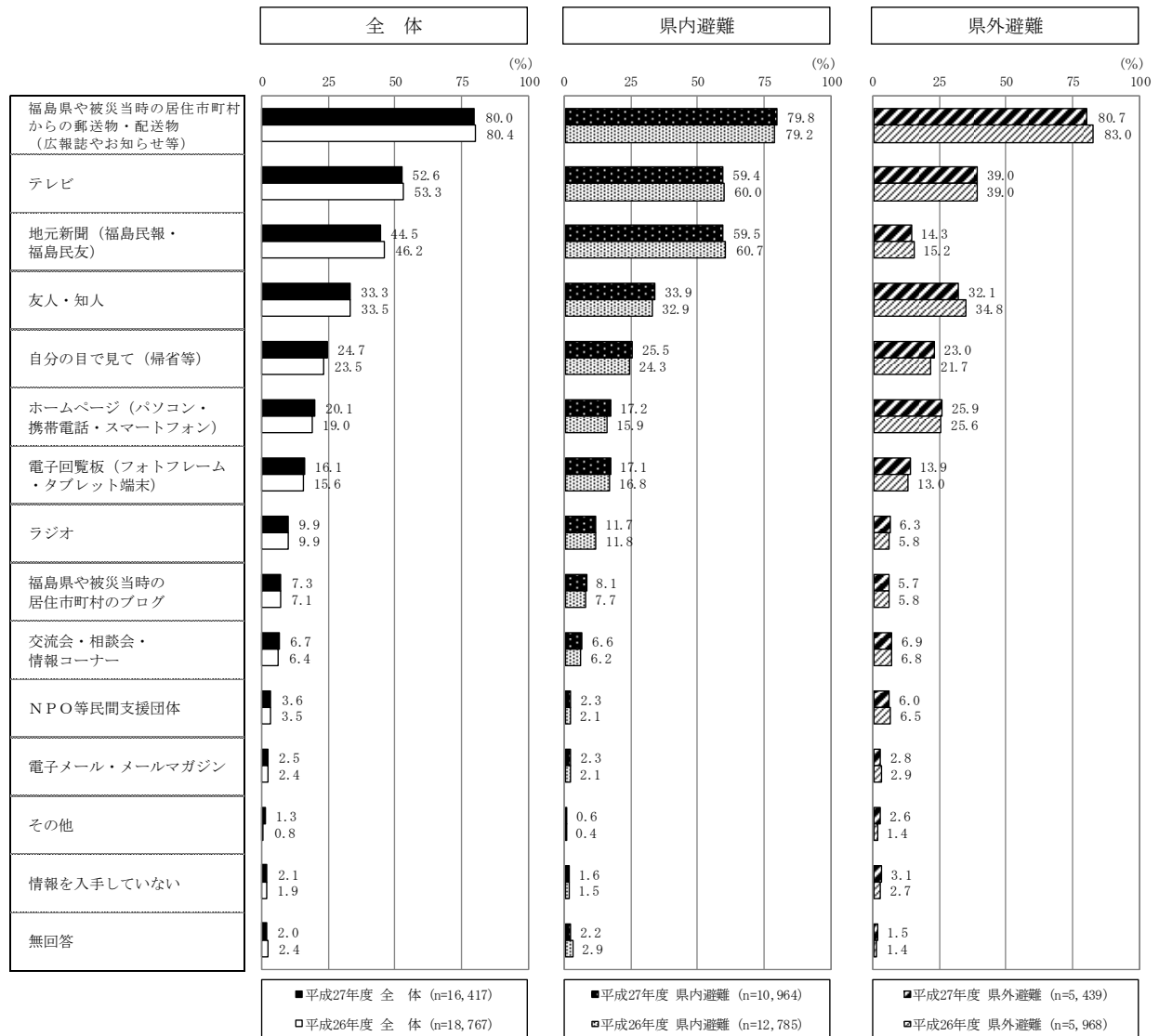
図表 4-1-1 避難元の情報入手手段 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外）〉（図表 4-1-2）

○ 県内・県外への避難世帯ともに、「福島県や被災当時の居住市町村からの郵送物・配送物（広報誌やお知らせ等）」が最も多く、次いで、県内への避難世帯では「地元新聞（福島民報・福島民友）」59.5%、「テレビ」59.4%、県外への避難世帯では、「テレビ」39.0%、「友人・知人」32.1%の順となっている。

図表 4-1-2 避難元の情報入手手段 〈 避難先別（県内・県外）〉



希望する行政機関からの情報内容（問 16）

（すべての方へ）

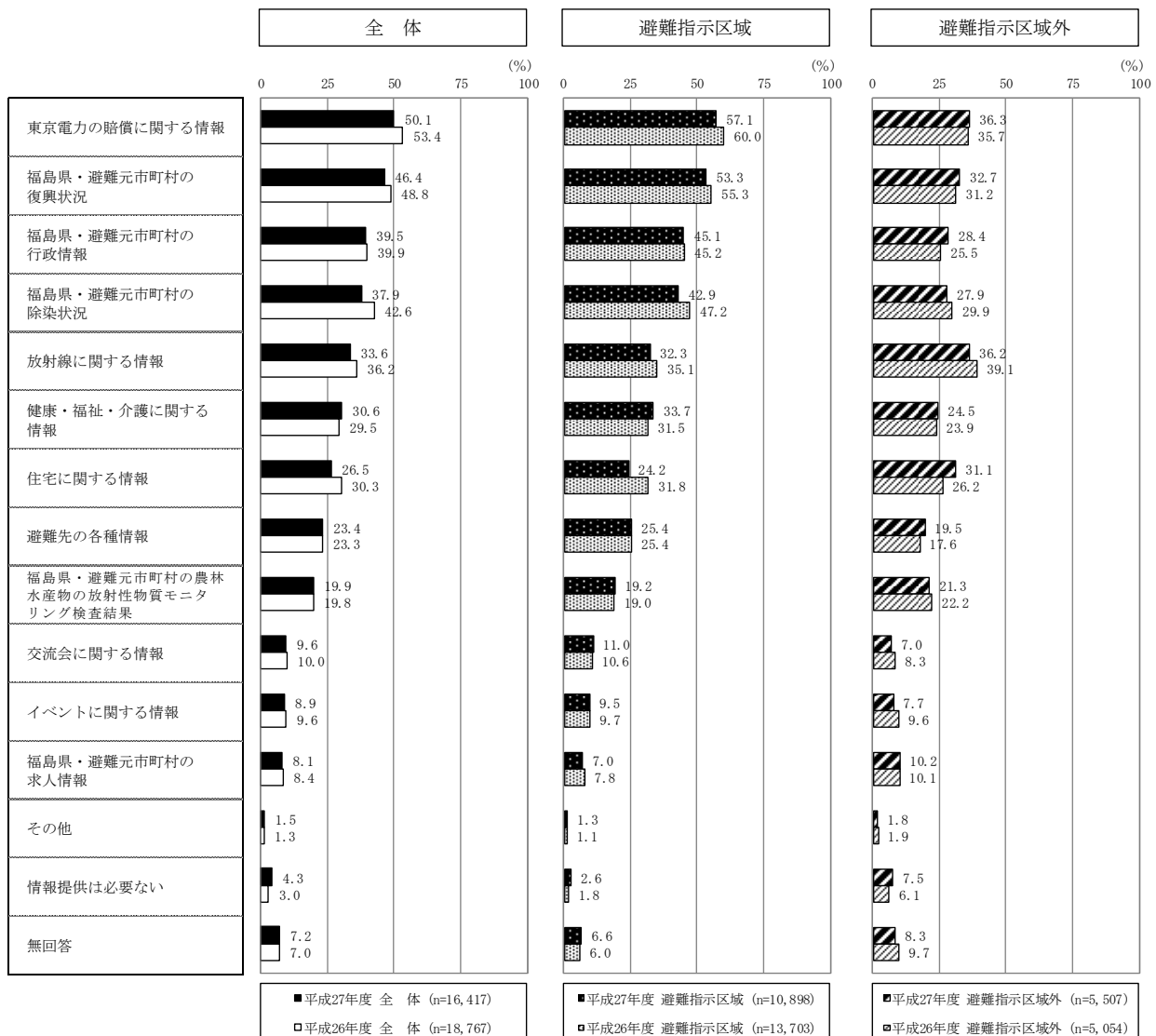
〈 全体 〉（図表 4-2-1）

- 希望する行政機関等からの情報提供（複数回答）については、「東京電力の賠償に関する情報」50.1%、「福島県・避難元市町村の復興状況」46.4%、「福島県・避難元市町村の行政情報」39.5%、「福島県・避難元市町村の除染状況」37.9%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 4-2-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「東京電力の賠償に関する情報」57.1%が最も多く、次いで「福島県・避難元市町村の復興状況」53.3%となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「東京電力の賠償に関する情報」36.3%が最も多く、次いで「放射線に関する情報」36.2%となっている。

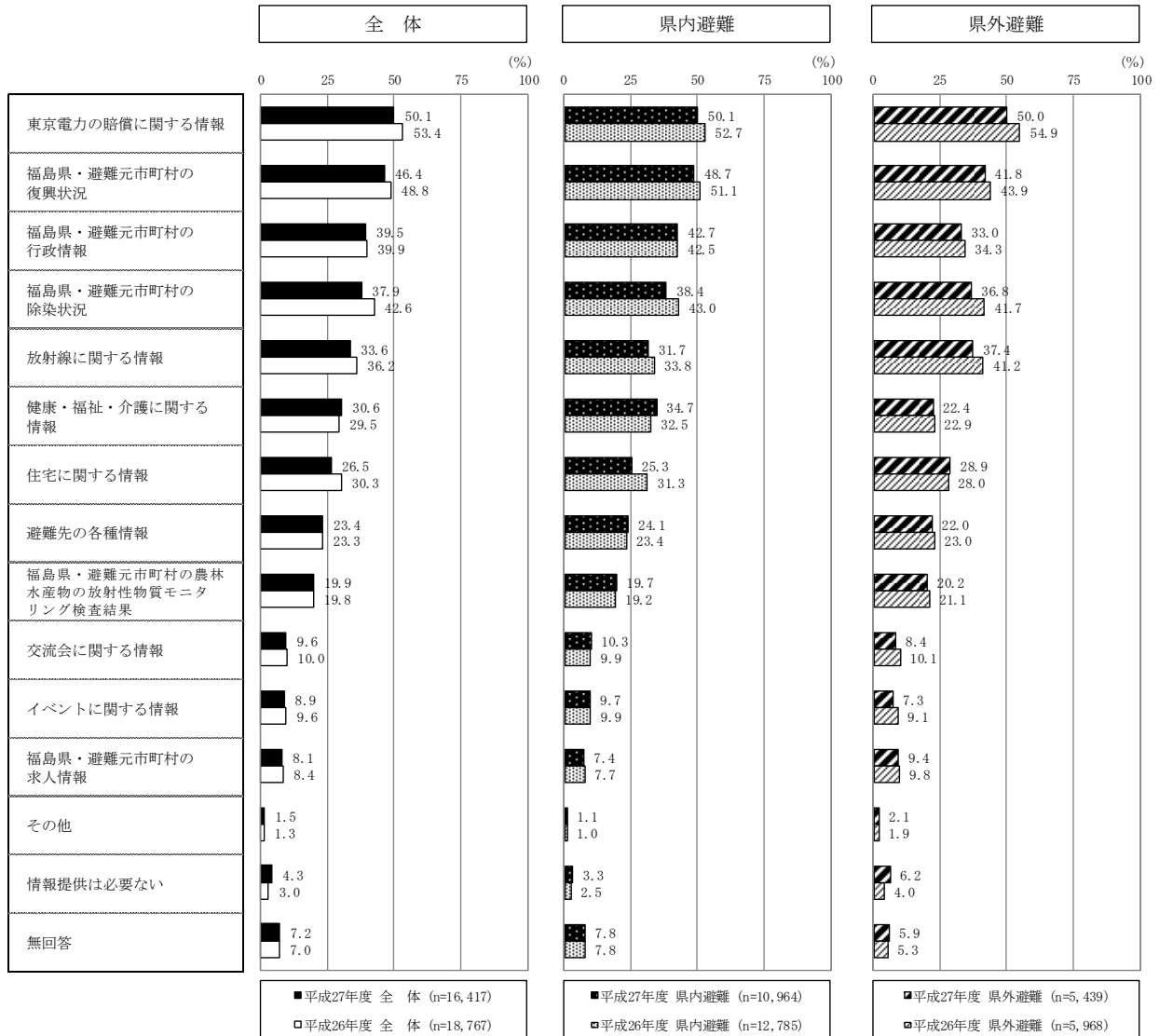
図表 4-2-1 希望する行政機関からの情報内容 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 4-2-2）

○ 県内・県外への避難世帯ともに、「東京電力の賠償に関する情報」が最も多く、次いで「福島県・避難元市町村の復興状況」となっている。

図表 4-2-2 希望する行政機関からの情報内容 〈 避難先別（県内・県外） 〉



5. 今後の意向について

(今後の意向については、平成28年2月22日時点の避難指示区域において復興庁等による意向調査が実施された市町村及び福島県による住まいに関する意向調査が実施された市町村を除く。)

福島県内避難世帯の今後の生活予定について (問17-1)

(現在福島県内に避難中の方へ ※同一市町村内での避難を含む)

〈全体〉(図表5-1-1)

- 県内に避難している世帯では、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」34.2%が最も多く、「現在の避難先市町村に定住したい」は13.6%となっている。

〈避難元別 (避難指示区域・避難指示区域外)〉(図表5-1-1)

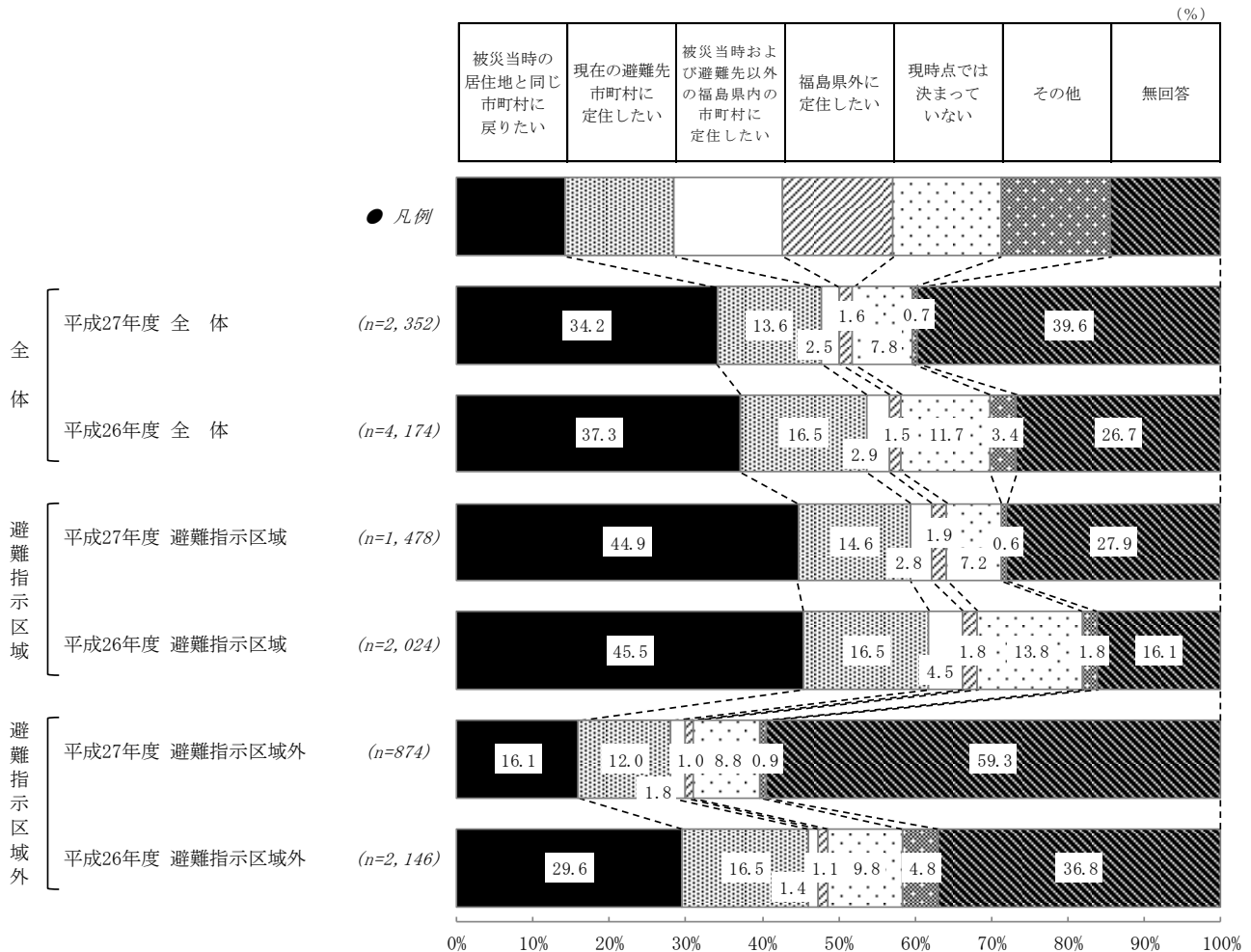
- 避難指示区域からの避難世帯では、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」44.9%が最も多く、次いで「現在の避難先市町村に定住したい」14.6%となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」16.1%が最も多く、「現在の避難先市町村に定住したい」は12.0%となっている。

※注：次の選択肢は、図表中では()内の表記を省略している。

- ・「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい (同一市町村内での避難の場合、住居のあった地区に戻りたい)」
- ・「現在の避難先市町村に定住したい (同一市町村内での避難の場合、現在の避難先の地区に定住したい)」

図表5-1-1 福島県内避難世帯の今後の生活予定

〈避難元別 (避難指示区域・避難指示区域外)〉



福島県外避難世帯の今後の生活予定について（問 17-2）

（現在福島県外に避難中の方へ）

〈 全体 〉（図表 5-1-4）

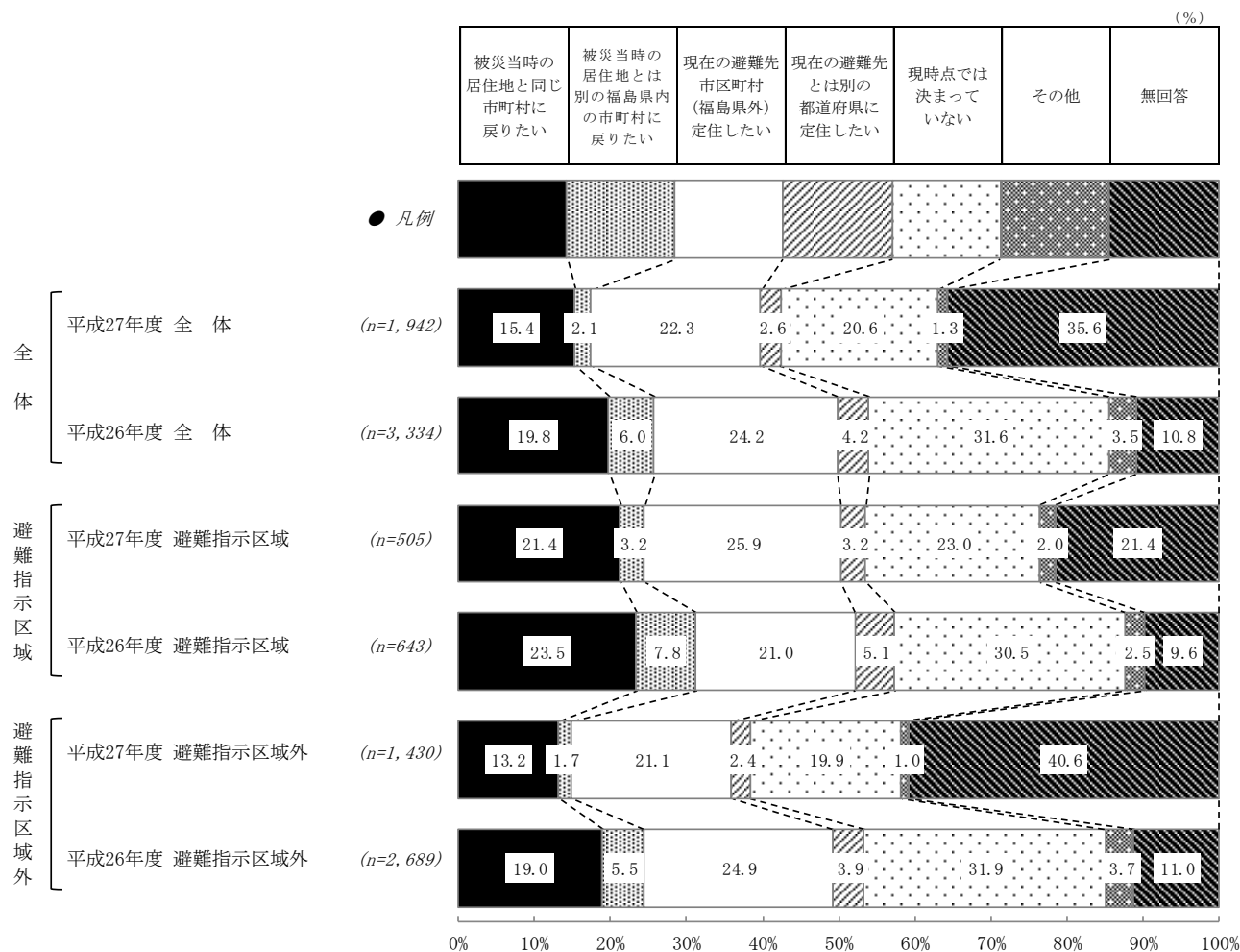
○ 県外に避難している世帯では、「現在の避難先市区町村（福島県外）に定住したい」22.3%が最も多く、「現時点では決まっていない」20.6%、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」15.4%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 5-1-4）

○ 避難指示区域・避難指示区域外からの避難世帯ともに、「現在の避難先市区町村（福島県外）に定住したい」が最も多く、次いで、「現時点では決まっていない」、「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」の順となっている。

図表 5-1-4 福島県外避難世帯の今後の生活予定

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



被災当時の居住地と同じ市町村に戻る条件（問 18）

（問 17-1 または問 17-2 で 1 「被災当時の居住地と同じ市町村に戻りたい」とお答えの方へ）

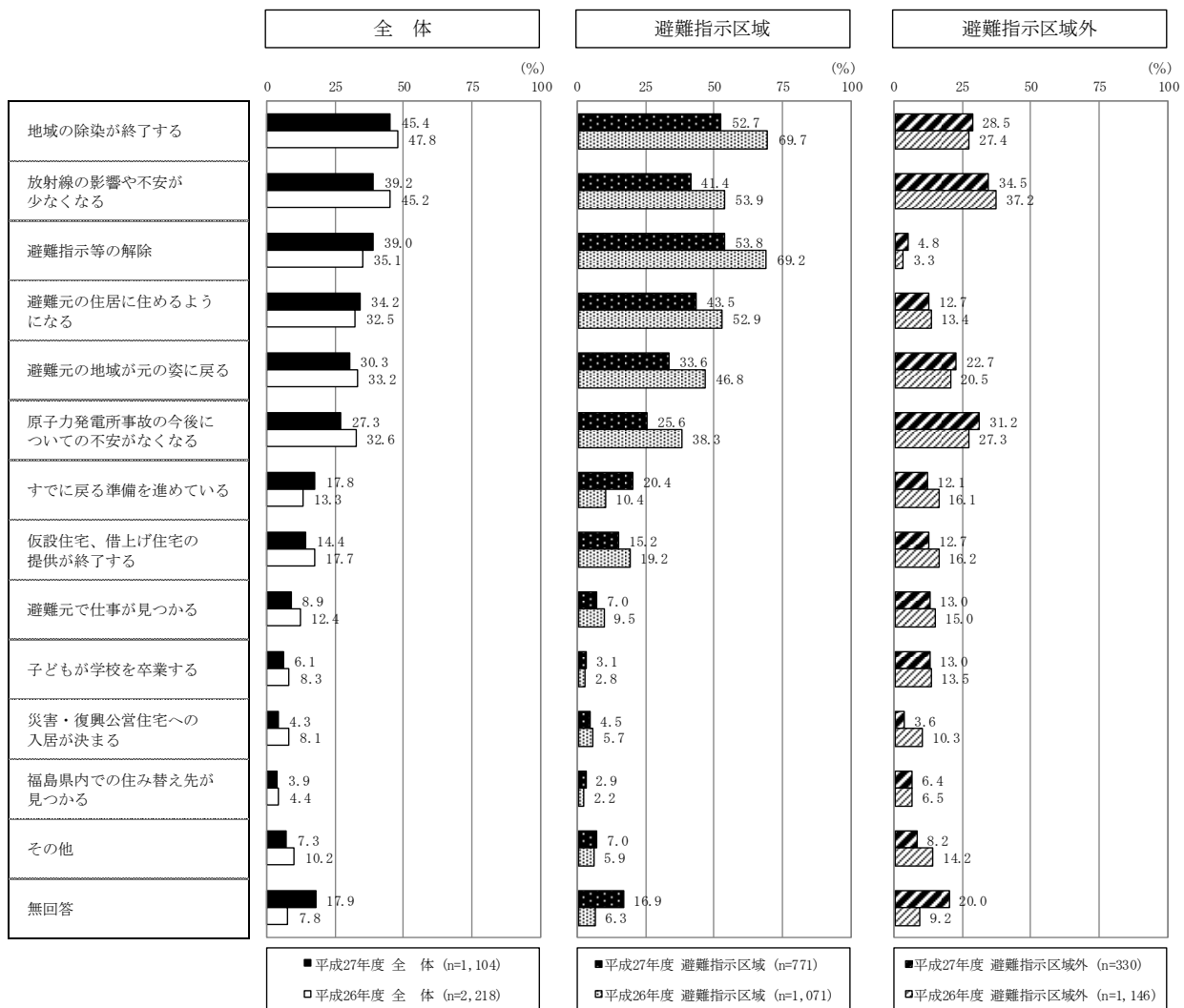
〈 全体 〉（図表 5-2-1）

- 被災当時と同じ市町村に戻る条件（複数回答）は、「地域の除染が終了する」が 45.4 %で最も多く、次いで、「放射線の影響や不安が少なくなる」39.2%、「避難指示等の解除」39.0%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 5-2-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「避難指示等の解除」53.8%が最も多く、次いで「地域の除染が終了する」52.7%となっており、それぞれ前年度から大きく減少している。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「放射線の影響や不安が少なくなる」34.5%が最も多く、次いで、「原子力発電所事故の今後についての不安がなくなる」31.2%、「地域の除染が終了する」28.5%の順となっている。

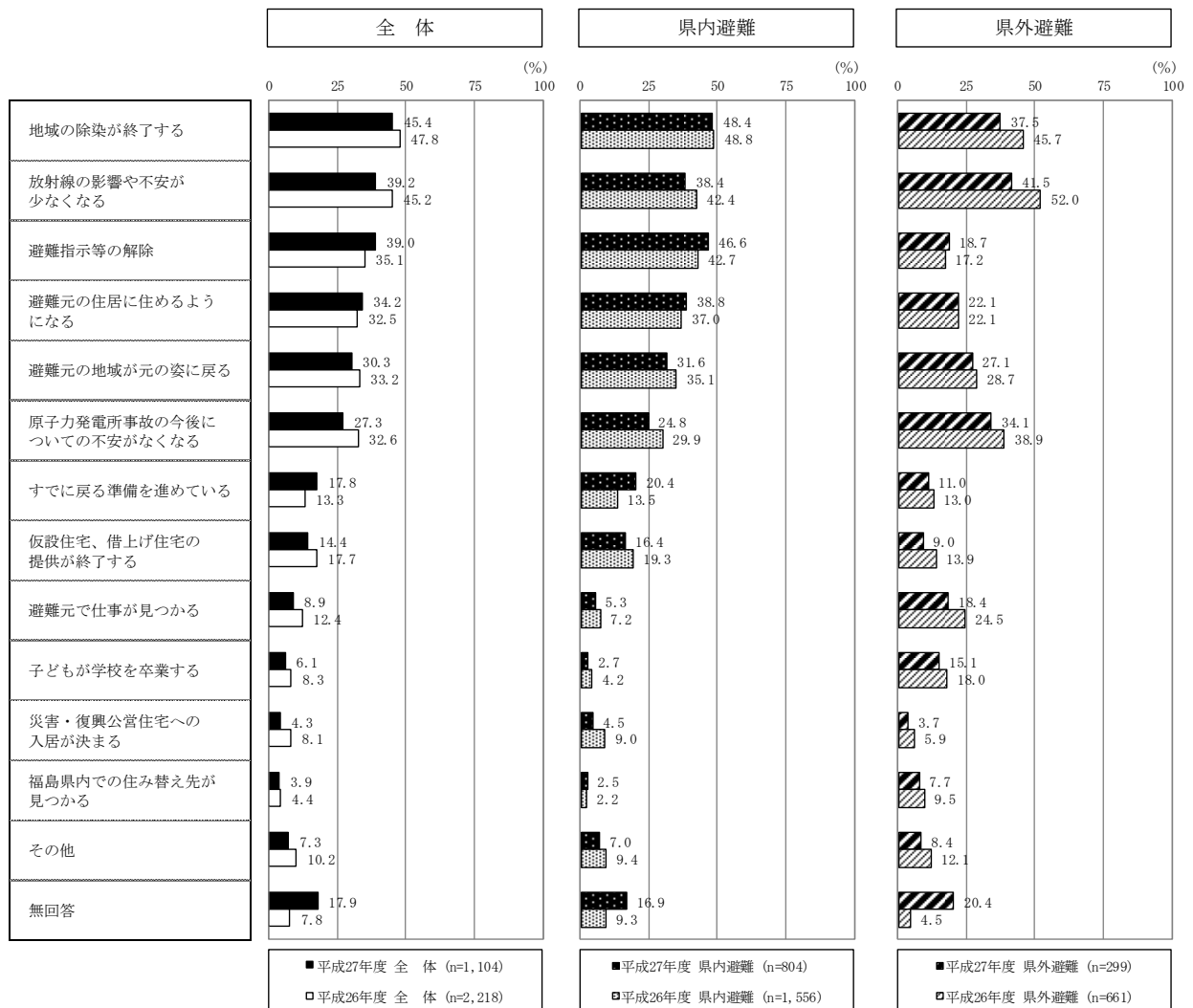
図表 5-2-1 被災当時の居住地と同じ市町村に戻る条件 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 5-2-2）

- 県内への避難世帯では、「地域の除染が終了する」48.4%が最も多く、次いで、「避難指示等の解除」46.6%、「避難元の住居に住めるようになる」38.8%、「放射線の影響や不安が少なくなる」38.4%の順となっている。
- 県外への避難世帯では、「放射線の影響や不安が少なくなる」41.5%が最も多く、次いで、「地域の除染が終了する」37.5%、「原子力発電所事故の今後についての不安がなくなる」34.1%の順となっている。

図表 5-2-2 被災当時の居住地と同じ市町村に戻る条件〈 避難先別（県内・県外） 〉



帰還や生活再建のために必要な支援内容（問 21）

（すべての方へ）

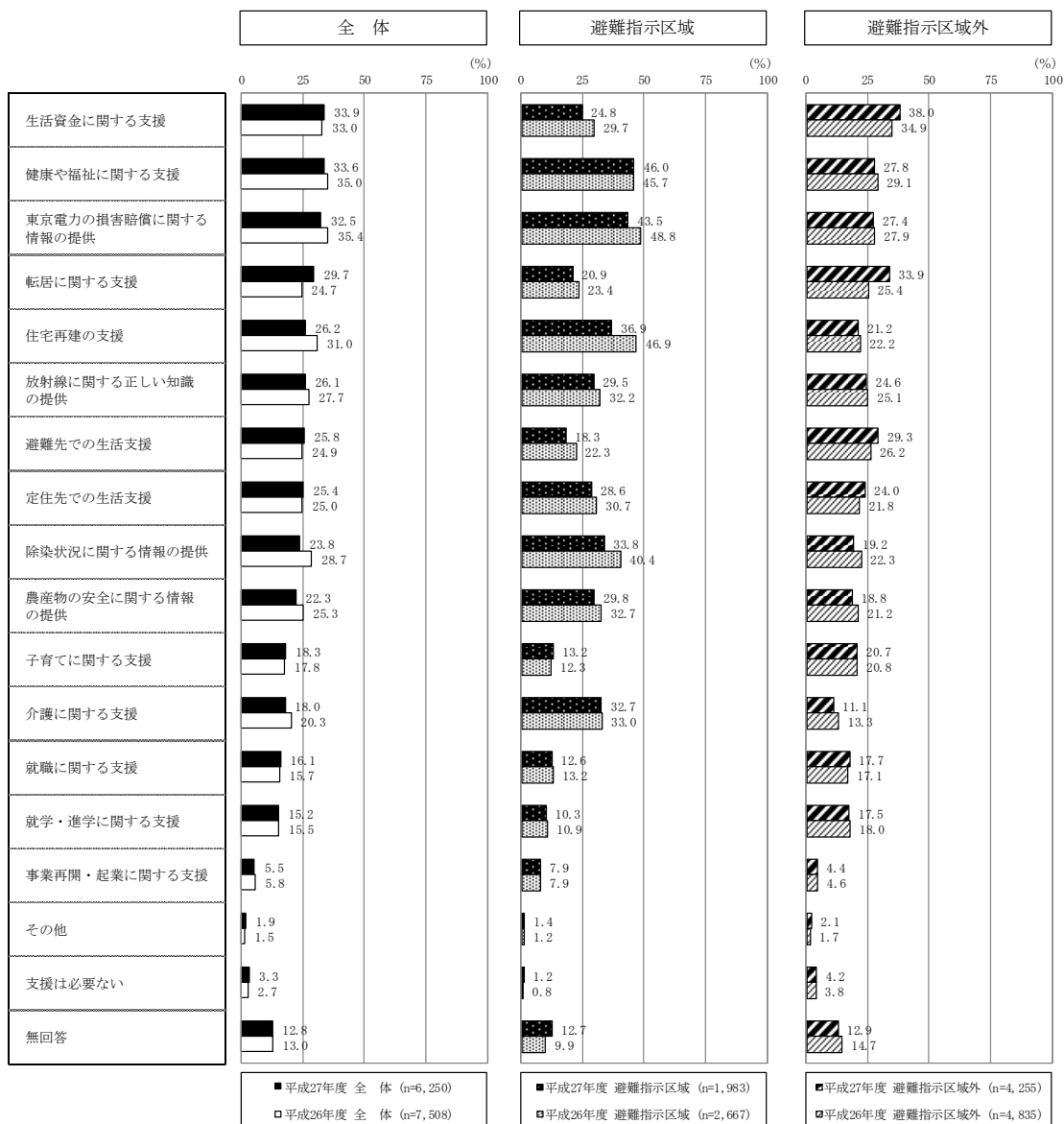
〈 全体 〉（図表 5-5-1）

- 帰還や生活再建に向けて必要な支援（複数回答）は、「生活資金に関する支援」33.9%、「健康や福祉に関する支援」33.6%、「東京電力の損害賠償に関する情報の提供」32.5%、「転居に関する支援」29.7%、「住宅再建の支援」26.2%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 5-5-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「健康や福祉に関する支援」46.0%、「東京電力の損害賠償に関する情報の提供」43.5%、「住宅再建の支援」36.9%、「除染状況に関する情報の提供」33.8%の順となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「生活資金に関する支援」38.0%が最も多く、「転居に関する支援」33.9%、「避難先での生活支援」29.3%、「健康や福祉に関する支援」27.8%、「東京電力の損害賠償に関する情報の提供」27.4%の順となっている。

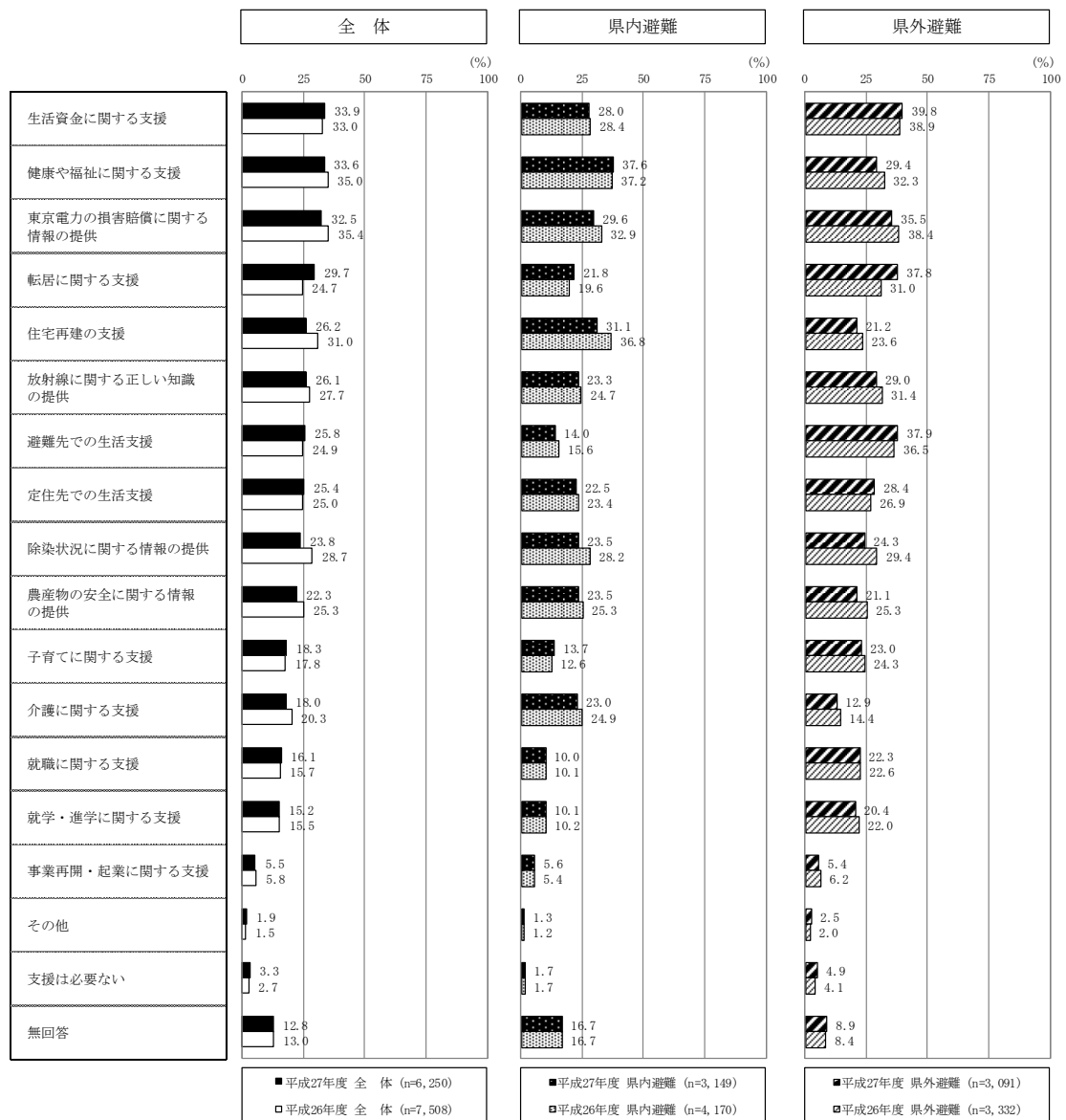
図表 5-5-1 帰還や生活再建のために必要な支援内容 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 5-5-2）

- 県内への避難世帯では、「健康や福祉に関する支援」37.6%、「住宅再建の支援」31.1%、「東京電力の損害賠償に関する情報の提供」29.6%、「生活資金に関する支援」28.0%の順となっている。
- 県外への避難世帯では、「生活資金に関する支援」39.8%が最も多く、「避難先での生活支援」37.9%、「転居に関する支援」37.8%、「東京電力の損害賠償に関する情報の提供」35.5%の順となっている。

図表 5-5-2 帰還や生活再建のために必要な支援内容 〈 避難先別（県内・県外） 〉



福島県への意見・要望（問 22）

（すべての方へ）

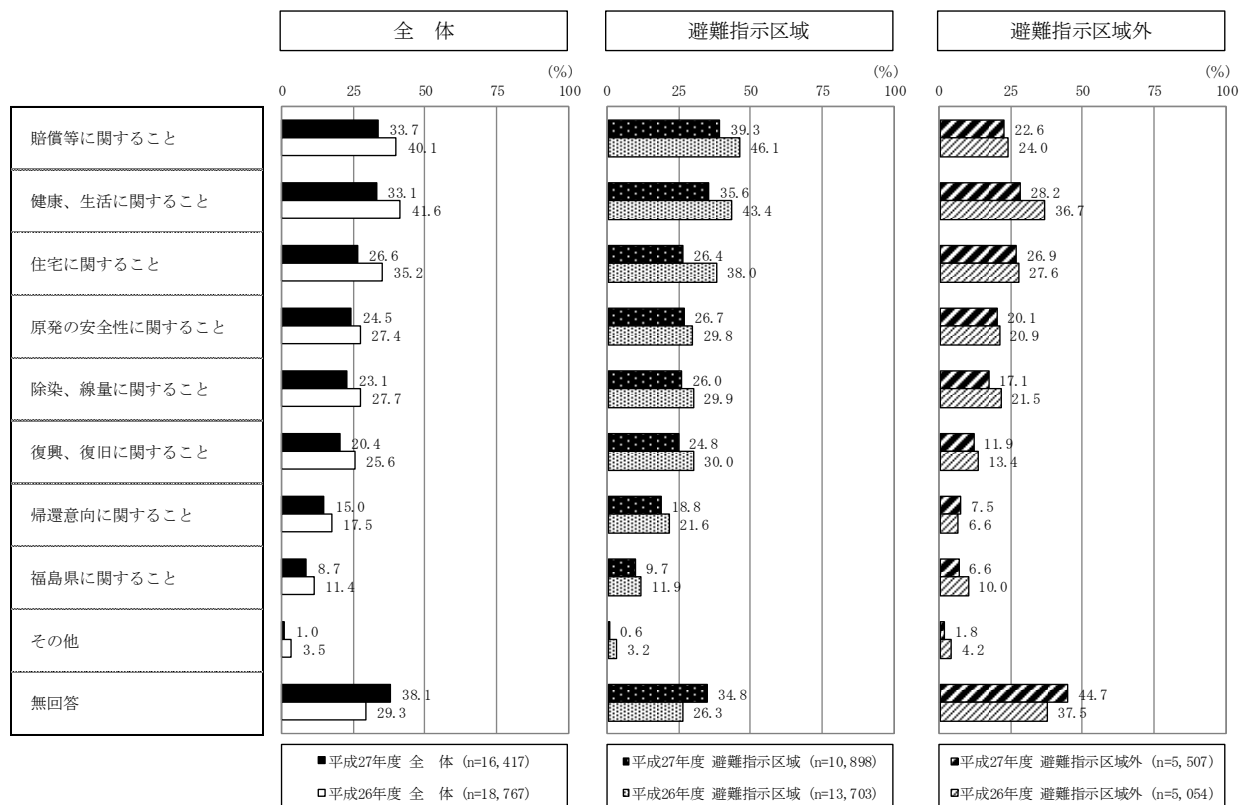
〈 全体 〉（図表 5-6-1）

- 福島県からの支援、今後のことについての意見や要望（複数回答）は、「賠償等に関すること」33.7%、「健康、生活に関すること」33.1%、「住宅に関すること」26.6%、「原発の安全性に関すること」24.5%、「除染、線量に関すること」23.1%、「復興、復旧に関すること」20.4%の順となっている。

〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉（図表 5-6-1）

- 避難指示区域からの避難世帯では、「賠償等に関すること」39.3%が最も多く、次いで、「健康、生活に関すること」35.6%、「原発の安全性に関すること」26.7%、「住宅に関すること」26.4%、「除染、線量に関すること」26.0%の順となっている。
- 避難指示区域外からの避難世帯では、「健康、生活に関すること」28.2%が最も多く、「住宅に関すること」26.9%、「賠償等に関すること」22.6%、「原発の安全性に関すること」20.1%の順となっている。

図表 5-6-1 福島県への意見・要望 〈 避難元別（避難指示区域・避難指示区域外） 〉



〈 避難先別（県内・県外） 〉（図表 5-6-2）

- 県内への避難世帯では、「健康、生活に関すること」35.9%、「賠償等に関するこ
と」35.0%、「住宅に関すること」26.0%、「原発の安全性に関すること」25.7%の
順となっている。
- 県外への避難世帯では、「賠償等に関すること」31.1%、「住宅に関すること」
27.8%、「健康、生活に関すること」27.5%の順となっている。

図表 5-6-2 福島県への意見・要望 〈 避難先別（県内・県外） 〉

